Panasonic®

# 施工説明書

水洗便器

# アラウーノV

A・La・Uno V

## 品番

| タイプ | | 便器 | 給排水部材セット | 手洗い | 排水芯（mm） |
|---|---|---|---|---|---|
| 標準 | 手洗い付き | CH3000WST(7) | CH300F | CH300TWS | 120/200 |
| | 手洗い無し | CH3000WS(7) | | | |
| リフォーム | 手洗い付き | CH3000WST(7) | CH300FR | CH300TWS | 305～445 |
| | 手洗い無し | CH3000WS(7) | | | |

・オプション

便器洗浄リモコン　CH300S

(7)：寒冷地仕様

※写真は、便座「ビューティ・トワレ Sシリーズ」（別売）を組み合わせた場合です。

## 床排水タイプ

**標準タイプ**

リフォームタイプ

● 施工にあたっては、2ページの「施工チャート」を参照してください

■もくじ



■施工者の安全と使用者の安全確保のために、この施工説明書をよくお読みになり、安全に正しく施工してください。

■施工後は引き渡しの際に、取扱説明書にしたがって取扱方法をお施主様にご説明いただき、保証書に必要事項を記入してお施主様にお渡しください。

# 施工チャート

● タイプ別に必要な施工内容と施工手順が異なります。下記を参照し、施工の流れを確認してください。

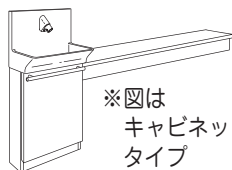


## タイプ別の施工手順

### 手洗いの施工手順

「アラウーノ専用手洗い」と併設　別売手洗

9ページ

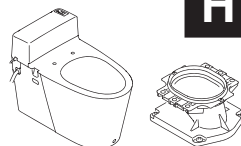
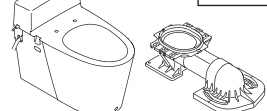
または

手洗い付き　T

9～14ページ



手洗いの施工

便器の施工

### 便器の施工手順

標準タイプ　H

15～18ページ

または

リフォームタイプ　R

19～24ページ



「アラウーノ専用手洗い」と併設の場合

※「アラウーノ専用手洗い」に付属の施工説明書を参照

## 共通　共通の施工手順　25～31ページ



## 施工完了チェック・引き渡し　裏表紙

# ▶▶各部のなまえ

● 手洗い付きのイラストで説明しています。

# 部品の確認

- 施工前に部品数量を確認してください。また品質に支障のある損傷がないか確認してください。

## 便器

### 便器

| 品名 | | 数量 |
|---|---|---|
| 便器<br>（給水ホース・パッキン付き） | 手洗い付き<br>（品番：CH3000WST(7)） | いずれか1個 |
| | 手洗い無し<br>（品番：CH3000WS(7)） | |
| サイドカバー | | L・R<br>各1個 |
| 停電ハンドル操作ガイド | | 1部 |

### 便器取付ねじセット

| 品名 | | 数量 |
|---|---|---|
| アプセットタッピンねじ<br>（φ6×45mm） | | 2本 |
| 平座金<br>（6×16×1.0mm） | | 2個 |
| トラスタッピンねじ<br>（φ5×35mm） | | 1本 |
| なべタッピンねじ<br>（φ5×60mm） | | 1本 |
| 固定片 | | 1個 |
| 前固定穴キャップ | | 1個 |

### 便座固定金具セット

- 取り付け方は、便座の施工説明書をご参照ください。
  専用便座以外はこの部品は使用しません。
  （それぞれの便座に同梱の部品をご使用ください。）

| 品名 | | 数量 |
|---|---|---|
| 上方固定金具 | | 2個 |
| 上方固定パッキン | | 2個 |
| なべ小ねじ<br>（φ6×50mm） | | 2本 |
| 上方固定ゴムナット | | 2個 |

### 説明書セット

| 品名 | | 数量 |
|---|---|---|
| 取扱説明書 | | 1部 |
| 施工説明書（本書） | | 1部 |
| 保証書 | | 1部 |

## リモコン（オプション）（CH300S）

### リモコンセット

| 品名 | | 数量 |
|---|---|---|
| リモコン | | 1個 |
| リモコンホルダー | | 1個 |
| 単4マンガン乾電池 | | 2本 |
| 皿ねじ<br>（φ3.5×16mm） | | 2本 |
| 皿ねじ<br>（φ3.5×38mm） | | 2本 |
| アンカープラグ | | 2本 |

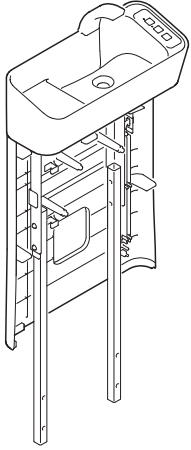
## 止水栓（給水）（CH300F・CH300FRに同梱）

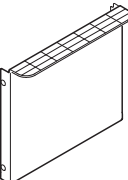
### 止水栓セット

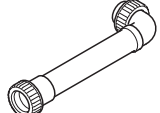
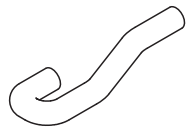
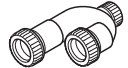
| 品名 | | 数量 |
|---|---|---|
| 止水栓本体（呼び13） | | 1個 |
| 給水管（L=76） | | 1本 |
| わん座 | | 1個 |

## 床フランジ（排水：標準タイプ）（CH300F）

### ▶床フランジセット

| | | |
|---|---|---|
| 床フランジ(ナット付き) | ナット / パッキン | 1個 |
| パッキン | | 1個 |
| VU75用リング | | 1個 |
| VP100用リング | | 1個 |
| VU100用リング | | 1個 |
| トラスタッピンねじ（φ5×35mm） | | 4本 |
| 六角ボルト（M8×30mm） | | 2本 |
| 平座金(8.5×22×1.5mm) | | 2個 |
| 標準タイプ用型紙 | | 1枚 |

## 排水アジャスタ（排水：リフォームタイプ）（CH300FR）

### ▶排水アジャスタセット

| | | |
|---|---|---|
| 排水アジャスタ（ナット付き） | ナット / パッキン | 1個 |
| 六角ボルト（M8×30mm） | | 2本 |
| 平座金(8.5×22×1.5mm) | | 2個 |
| 床フランジ接続部 | | 1個 |
| T型ボルト（M8×50mm） | | 2本 |
| 平座金(8.5×22×1.5mm) | | 2個 |
| ナット(M8) | | 2個 |
| トラスタッピンねじ（φ5×35mm） | | 2本 |
| Pシール | | 1個 |
| リフォームタイプ用型紙1 | | 1枚 |
| リフォームタイプ用型紙2 | | 1枚 |

## 手洗い（CH300TWS）

### ▶手洗い本体

| | | |
|---|---|---|
| 手洗い本体 |  | 1個 |

### ▶配管カバー

| | | |
|---|---|---|
| 配管カバー |  | 1個 |

### ▶配管セット

| | | |
|---|---|---|
| 排水導入管A（袋ナット・スリップワッシャ・パッキン付き） | | 1個 |
| 排水導入管B | | 1個 |
| 排水導入管C（袋ナット・スリップワッシャ・パッキン付き） | | 1個 |

### ▶給水ホース

| | | |
|---|---|---|
| 給水ホース | | 1本 |

### ▶ねじセット

| | | |
|---|---|---|
| 蝶ボルト（ばね座金・平座金付き）（M5×30mm） | | 4セット |
| なべタッピンねじ（φ4×20mm） | | 4本 |
| クイックファスナー | | 2個 |

### ▶小物成形品セット

| | | |
|---|---|---|
| ファスナーロック | | 2個 |
| ねじキャップ | | 4個 |

# 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 | ⚠注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

■ お守りいただく内容を次の図の記号で説明しています。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

## ⚠警告

禁止

### 全般

- **分解や改造はしない**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **浴室内など湿気の多い場所、水洗い洗浄ができる床に設置しない**
  感電や火災の原因になります。

### 電気に関すること

- **電源コードで便器をつり下げない**
  けがおよび発火や発煙の原因になります。
- **便器や手洗いの操作部、電源プラグに水や汚水をかけない**
- **ぬれた手で電源プラグを触らない**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントを使用しない、また電源コードを破損するようなことはしない**
  感電・火災・けがの原因になります。
- **給水位置の真下にコンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない**
  感電や火災のおそれがあります。
- **便器を取り付けるときは、電源コードをはさみ込まない**
  火災や感電の原因になります。

必ず守る

### 全般

- **必ず施工説明書に従って施工する**
  感電・火災・けがの原因になります。

### 電気に関すること

- **必ず交流100Vで使用する**
- **コンセントや配線器具は必ず定格内で使用する**
  たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

### 電池に関すること[リモコン(オプション)]

- **電池の⊕、⊖ を正しく入れる**
  取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。

### 漏電・火災・水漏れの防止

- **電気工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う**
  漏電・火災・水漏れの原因になります。

## ⚠注意

禁止

### 全般

- **給水ホースや便器給水部排水管、手洗い吐水口などに力を加えない**
  水漏れの原因になります。

便器給水部

- **便器・手洗いに固いものや重いもの,とがったものを落としたり、当てたりしない**
  変形・破損によるけがの原因になります。

### 水漏れ防止

- **止水栓を開いたままストレーナを外さない**
  水が噴き出し拡大損害になります。

### 床フランジ(標準タイプ)

- **床フランジを無理な力で固定しない、また、割れたまま使用しない**
  水漏れの原因になります。

禁止

### リフォームタイプ

- **Pシールを二重で使用したり、排水管にはみ出した状態で施工しない**
  排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。

### 洗剤・薬品に関すること

- **重曹・シンナー・ベンジン・アルコール・その他薬品などを使用しない**
- **酸・アルカリ性の洗剤、重曹を含む洗剤を使用しない**
- **アルコール(エタノール、イソプロピルアルコールなど)を含む洗剤・消臭剤・滴下するタイプの消臭液・トイレ掃除用ペーパー※を使用しない**
  ※花王製トイレクイックルはご使用いただけます。(当社試験により確認済み)
- **オレンジオイルを含む洗剤・柑橘系の香りを有する洗剤を使用しない**
  製品の破損によるけがの原因になります。

## ⚠注意

必ず守る

### 水漏れ防止

- **水道工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う**
- **給排水接続は必ず正しい方法で施工する**
- **必ず1/100以上の十分な排水勾配をとる**
- **床面は、水平に施工する**
- **給排水の接続には必ず同梱のパッキンを使用する**
- **止水栓にがたつきがないことを確認する**
- **必ず商品に同梱の指定のねじを使用する**
- **便器ががたつきがないことを確認する**
- **ねじ部に異物がないようにきれいに水洗いする**
- **ストレーナふたをしっかりと締めつける**
  水漏れの原因になります。
- **2階以上のトイレルームに設置するときは、必ず床フランジまわりにシーリングを行う**
  階下への水漏れのおそれがあります。
- **施工後必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する**
  水漏れによる拡大損害の原因になります。

### 凍結防止

- **設置後、しばらく使用せず、凍結のおそれがある場合は、水抜きや不凍液を入れるなどの凍結防止をする**
  破損・水漏れの原因になります。

必ず守る

### 凍結防止

- **寒冷地以外の地域においても、屋外配管・露出配管については凍結防止ヒーターを取り付けるなどの適切な凍結予防対策を実施する**
  冬場周囲温度が0℃以下になると、凍結し、機器や配管が破損したり水漏れの原因になります。

### 床フランジ(標準タイプ)

- **リングとの接着は、排水管・リングの種類の適合、接着向きを正しく行う、また、塩ビ用接着剤を接着面全面に塗り、奥まで十分接着する**
  床フランジ部からの水漏れ、臭気もれの原因になります。
- **床からの浮きがないようにしっかりと固定する**
  便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。

### 排水アジャスタ(リフォームタイプ)

- **既設床フランジにしっかり固定する**
  水漏れの原因になります。
- **接着は接着面全面に塩ビ管用接着剤を十分に塗り、奥まで十分に差し込み接着する**
  水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。
- **横引管切断後、端部のバリ、汚れを完全に取り除く**
- **がたつきがないことを確認する**
  水漏れの原因になります。

# 取り付け前の確認

### 公的機関の確認事項

- 一部特定の地域では設置できない場合や水道事業者の承認が必要な場合があります。当社営業所、または販売店にご相談ください。
- アラウーノV便器は不燃材ではありません。設置の場合は、消防法関連法令および告示などに基づき設置してください。

### 給排水設備工事に関する注意事項

- この製品は上水道でのみご使用いただけます。
- 水洗便器の施工に際しては、下水道への放流の場合、自治体の指定業者でなければできませんのでご注意ください。
  当社営業所、または販売店にご相談ください。
- 使用水圧範囲は、0.049MPa(流動時)～0.735MPa(静止時)です。最低使用水圧未満で使用した場合は洗浄水が十分に流れず便器に汚物が残ったり、便器洗浄性能を損なったり封水が確保できなくなるおそれがあります。必ず指定の水圧範囲内でご使用ください。
- 「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合の使用水圧範囲は、0.098MPa(流動時)～0.735MPa(静止時)です。
- 便器洗浄水量(流動時0.2MPa時)

| モード | 大洗浄 | 小洗浄 |
|---|---|---|
| 標準モード(出荷時) | 4.6L | 3L |
| 増量モード1 | 5.7L | 3L |
| 増量モード2 | 8L | 3L |

- キッチンなど他の蛇口が開いたり、便器洗浄と手洗いの水を同時に使用した場合、洗浄流量が下がります。低水圧環境下での使用で、便器洗浄水の流れが弱い場合や手洗いから水が出ない場合は、手洗い吐水のタイミングを変更してください。(28ページ参照)

### 向かって右に給水位置がある場合

- オプションの延長給水ホースが必要となります。

| 長さ | 品番 |
|---|---|
| 1m | CH100R01 |

※右給水の場合、50cmの延長給水ホース(CH100R02)では長さが足りません。

### 電気工事に関する注意事項

- 以下の仕様の場合は必要なコンセントの数が変わります。

| 仕様 | | 必要なコンセントの数 |
|---|---|---|
| 便器のみ設置 | 寒冷地仕様 | 2個 |
| 「アラウーノ専用手洗い」と併設 | 自動水栓 | 2個 |
| | 自動水栓+寒冷地仕様 | 3個 |

- 便器用電源プラグは差し込み口付きです。差し込み口の使用容量は1400Wまでです。
- 第3種設置工事が必要な機器を接続する場合は、別途アース線の接続が必要です。
- 製品コードの長さは1mです。

### その他

- 同室で2台以上並べて設置される場合、隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。リモコン信号を変更できますので、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(有料)
- リモコンからの信号は、天井および壁に反射して便器に受光されますので、リモコンや便器受光部の上部に棚やカウンター・温水洗浄便座のリモコンなどを設置しないでください。
- リモコンは指定の範囲内に取り付けてください。
- 次のような場合、リモコンが作動しにくい場合があります。
  【直射日光がリモコン受光部・発光部にあたっている場合】
  直射日光をカーテンなどで遮断してください。
  【インバータ照明など特定の照明をご使用の場合】
  照明を消すと正常に動作する場合は、照明器具の交換をご検討ください。
- 壁紙や天井が黒色や濃い色の場合、リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。製品の納入前に必ず現場をご確認ください。
- 製品の使用温度範囲は0～40℃です。必ず指定の温度環境で設置してください。
- 手洗い付きの場合、施工完了後は必ず手洗い通水し、封水してください。
- 扉開閉時に扉が便器に当たらない位置に設置してください。
- 必ず指定の止水栓をお使いください。止水栓は壁給水・床給水兼用です。
- トイレ用床材(木質床材、クッションフロアなど)の選定に当たっては、耐水・耐アンモニア性などに十分ご配慮ください。床に滴下した小便が便器と床材のすき間に進入し床にシミが発生することがあります。
- 直射日光や強いライトが製品にあたる位置への設置はお避けください。製品が変色したり劣化したりするおそれがあります。

# 寸法図

## 標準タイプ

(寸法単位:mm)

● 手洗い付き

720
700
575(固定片穴位置)
186(床固定位置)
375以上
750以上
(床固定位置)
230
290
380
36
R1/2
1065
110(壁給水)
85(床給水)
385(便器高さ)
85(壁給水)
180(床給水)
200(排水位置)
VU/VP100またはVU/VP75塩ビ管

● 手洗い無し

720
700
575(固定片穴位置)
186(床固定位置)
375以上
750以上
(床固定位置)
230
290
380
R1/2
535
110(壁給水)
85(床給水)
385(便器高さ)
85(壁給水)
180(床給水)
200(排水位置)
VU/VP100またはVU/VP75塩ビ管

## リフォームタイプ

(寸法単位:mm)

● 手洗い付き

720
700
575(固定片穴位置)
186(床固定位置)
375以上
750以上
(床固定位置)
230
380
36
R1/2
1065
385(便器高さ)
305～445
(排水位置)
既設床フランジ
既設排水管

● 手洗い無し

720
700
575(固定片穴位置)
186(床固定位置)
375以上
750以上
(床固定位置)
230
380
R1/2
535
385(便器高さ)
305～445
(排水位置)
既設床フランジ
既設排水管

※給水位置は既設の位置をご確認ください。

別売
手洗

# 「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合

- 「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。

## ⚠ 警告

| | | | |
|---|---|---|---|
|  禁止 | ● **分解や改造はしない**<br>感電・火災・けがの原因になります。 |  必ず守る | ● **必ず施工説明書に従って施工する**<br>感電・火災・けがの原因になります。 |

手順 1

### 便器設置前の手順

- 右記の1 ～ 5は「アラウーノ専用手洗い」に付属の説明書を参照してください。

1. 「アラウーノ専用手洗い」を壁に据え付ける
2. 給水管・排水管を「アラウーノ専用手洗い」に取り付ける
3. 便器のリアカバーを外し、指定の位置を切り欠く
4. 排水導入管を便器に取り付ける
5. リアカバーを取り付ける

H 標準タイプの場合→15ページ ／ R リフォームタイプの場合→19ページ

# 手洗いの取り付け

- 手洗い付きの場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。

## ⚠ 警告

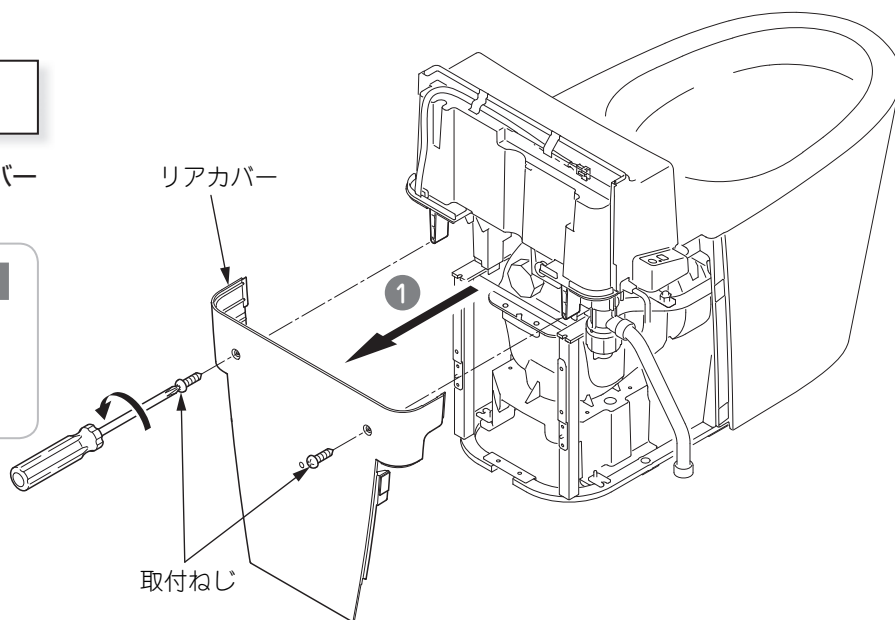
| | | | |
|---|---|---|---|
|  禁止 | ● **分解や改造はしない**<br>感電・火災・けがの原因になります。 |  必ず守る | ● **必ず施工説明書に従って施工する**<br>感電・火災・けがの原因になります。 |

手順 1

### リアカバーの取り外し

1. 取付ねじ 2か所 を緩めて外し、リアカバーを取り外す

**ご注意**

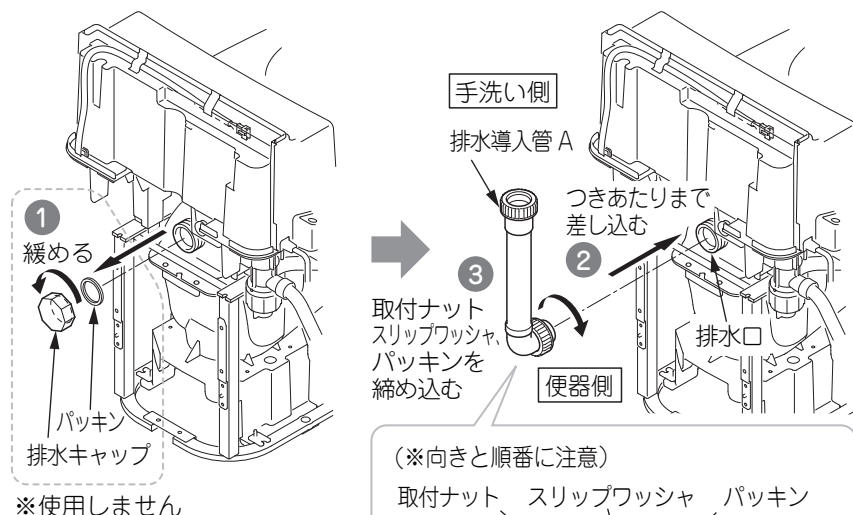
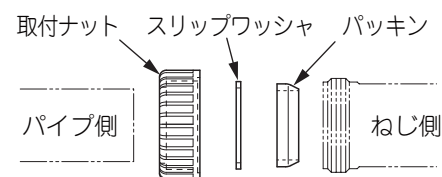
- **外したねじを無くさないでください。**
  「手順7」で取り付けに使用します。
  12ページ参照

手 順 2

## 排水導入管Aの取り付け

1. 便器背面の排水キャップとパッキンを緩めて外す
(取り外した排水キャップとパッキンは使用しません。)
2. 排水導入管Aの便器側を排水口に差し込む
3. 取付ナット、スリップワッシャ 、パッキンを締め込み固定する

### ⚠ 注意

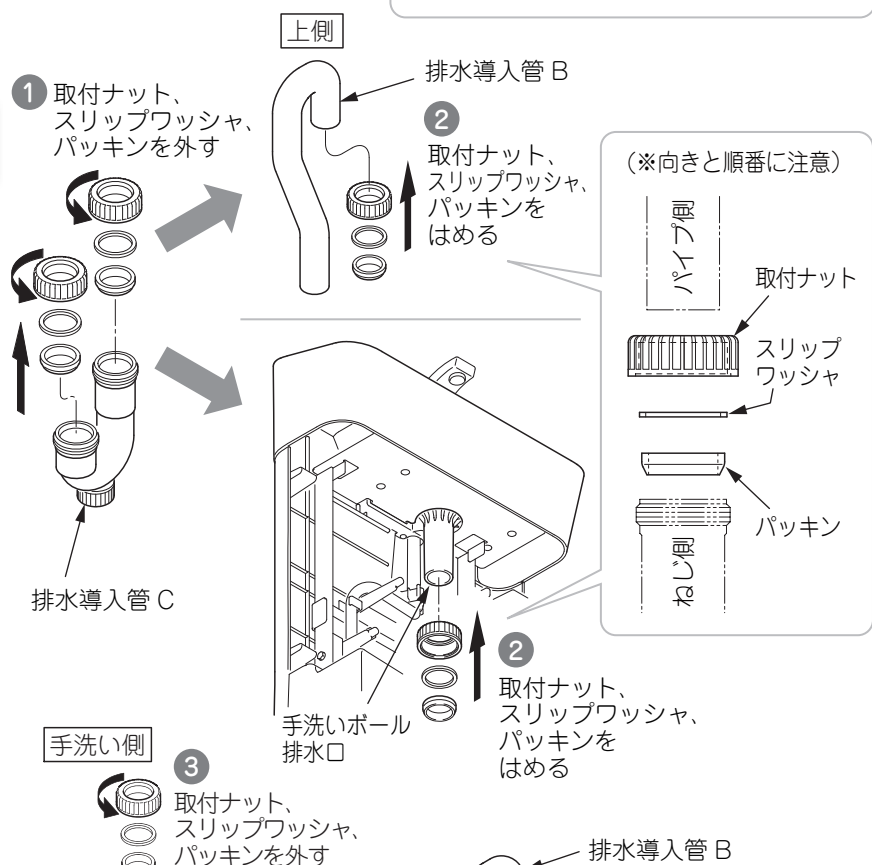
必ず守る

- **スリップワッシャとパッキンを正しい向きと順番で確実に締め込む**
水漏れの原因になります。
- **排水導入管Aを、つきあたりまで確実に差し込む**
水漏れやリアカバーが閉まらないなどのおそれがあります。

手 順 3

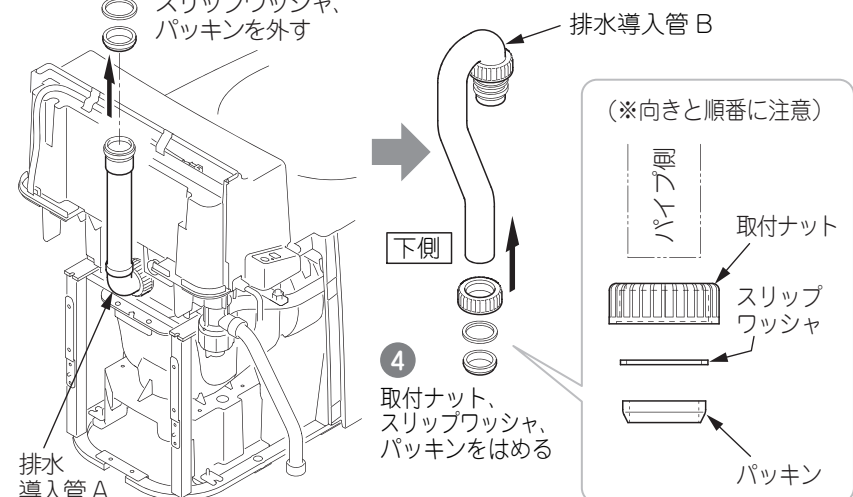
## 排水導入管BとCの取り付け準備

1. 排水導入管Cの取付ナット、スリップワッシャ、パッキン 各2個 を外す
2. 外した取付ナット、スリップワッシャ、パッキンを排水導入管Bの上側、手洗いボール排水口へはめる 2か所

3. 排水導入管Aの手洗い側の取付ナット、スリップワッシャ、パッキンを外す
4. 外した取付ナット、スリップワッシャ、パッキンを排水導入管Bの下側へはめる

### ⚠ 注意

- **スリップワッシャとパッキンを正しい向きと順番で確実に締め込む**
水漏れの原因になります。

**ご注意**

- **排水導入管BとCは「手順9」、「手順10」で取り付けてください。**
先に取り付けると給水ホースが取り付けられなくなります。 14ページ参照

手順4

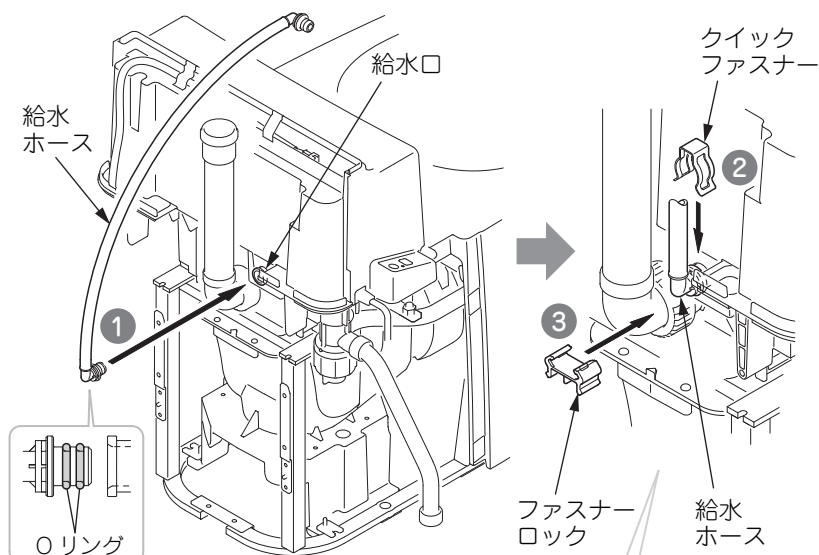
## 給水ホース(下側)の取り付け

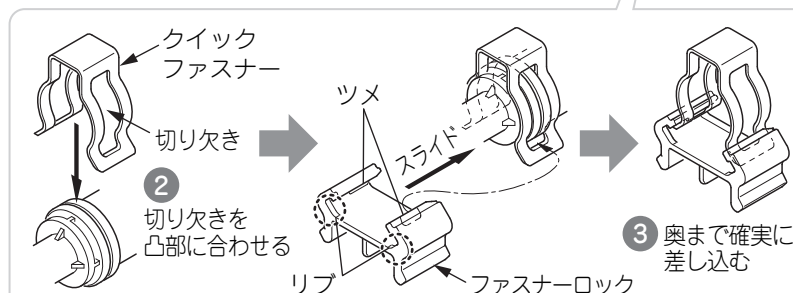
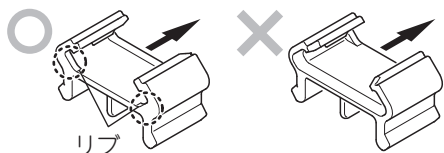
1 給水ホースを便器の給水口に差し込む
2 クイックファスナーの切り欠きを給水ホース接続部の凸部にはめ込む
3 ファスナーロックをクイックファスナーの奥まで確実に差し込む

### ⚠ 注意

必ず守る

- Oリングに汚れがついていたり、ねじれていたりしないか確認する
- クイックファスナーおよびファスナーロックを確実に差し込み、給水ホースが抜けないことを確認する

水漏れの原因になります。

**ポイント**

- ファスナーロックは、リブ(突起部)の反対側から取り付けてください。

手順5

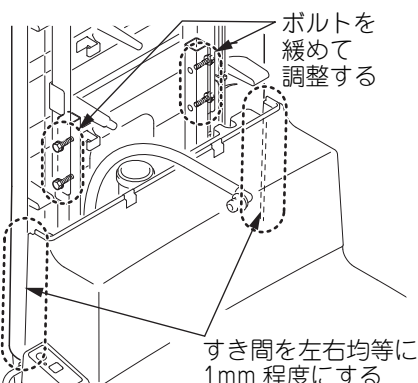
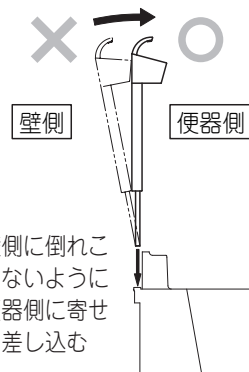
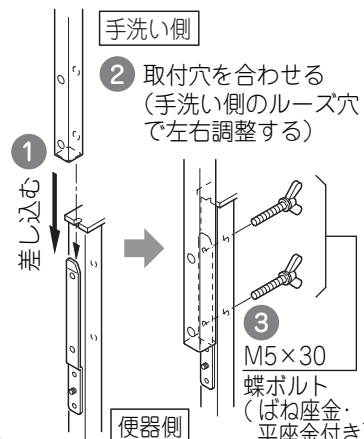
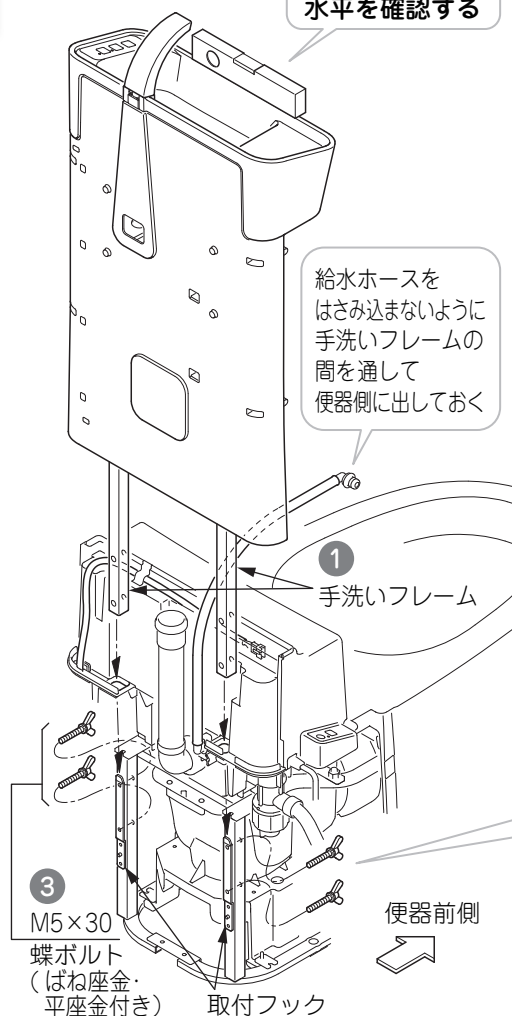
## 手洗いの取り付け

1 手洗いフレームを取付フックに差し込む
(給水ホースのはさみ込みに注意してください。)
2 手洗い側と便器側の取付穴を合わせる
3 蝶ボルト(ばね座金・平座金付き) M5×30mm で固定する 4か所

**左右調整**

- 手洗いフレームのねじ穴は左右調整のためのルーズ穴になっています。
- 手洗いが水平になるように調整しながら蝶ボルト 4か所 を締め込んでください。

**奥行調整**

- 下図位置の手洗いフレームのねじ穴はすき間調整のためのルーズ穴になっています。
- 手洗いと便器のすき間が左右均等に1mm程度となるようにボルト 4か所 を緩めて調整してください。

**ご注意**

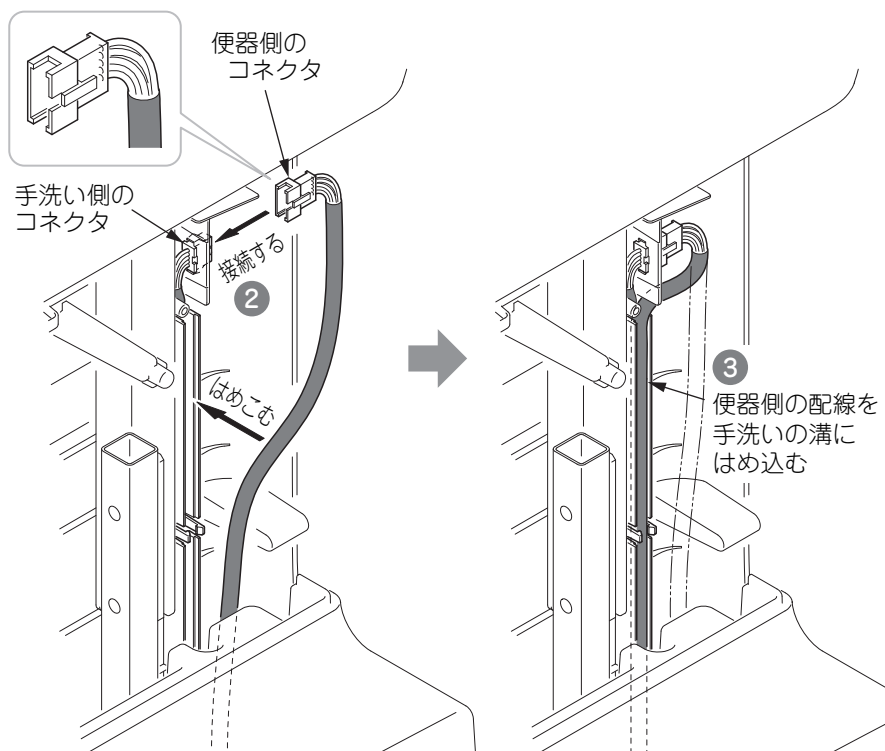
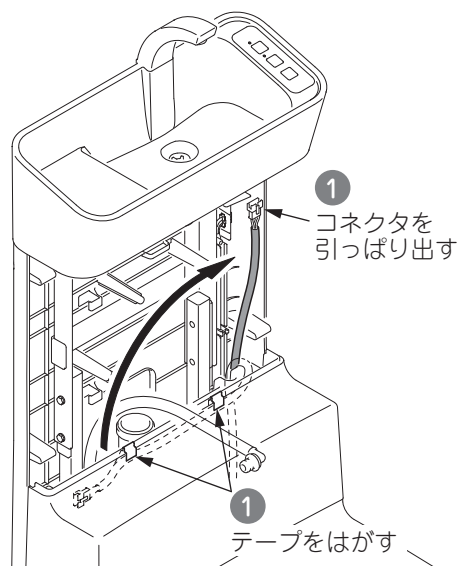
- 蝶ボルトは便器前側から取り付けてください。

手順 6

## コネクタの接続

1 便器に仮固定されているテープをはがし、コネクタを引っぱり出す

2 便器側のコネクタ 5Pメス を手洗い側のコネクタ 5Pオス に接続する

3 便器側の配線を手洗いの溝にはめ込む

手順 7

## リアカバーの取り付け

1 リアカバーを元の位置に合わせる

**ポイント**

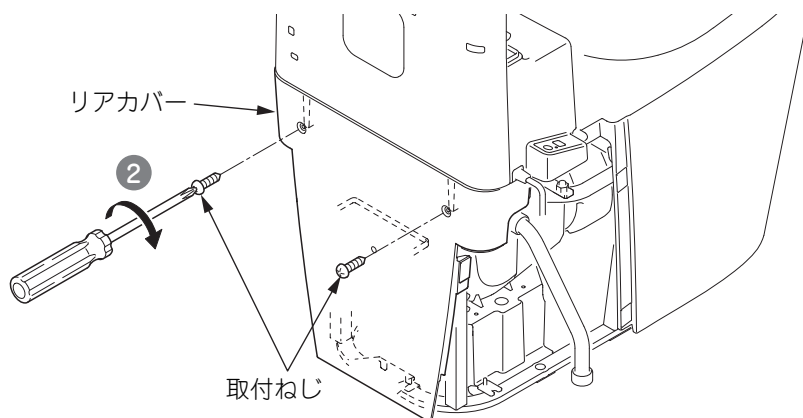
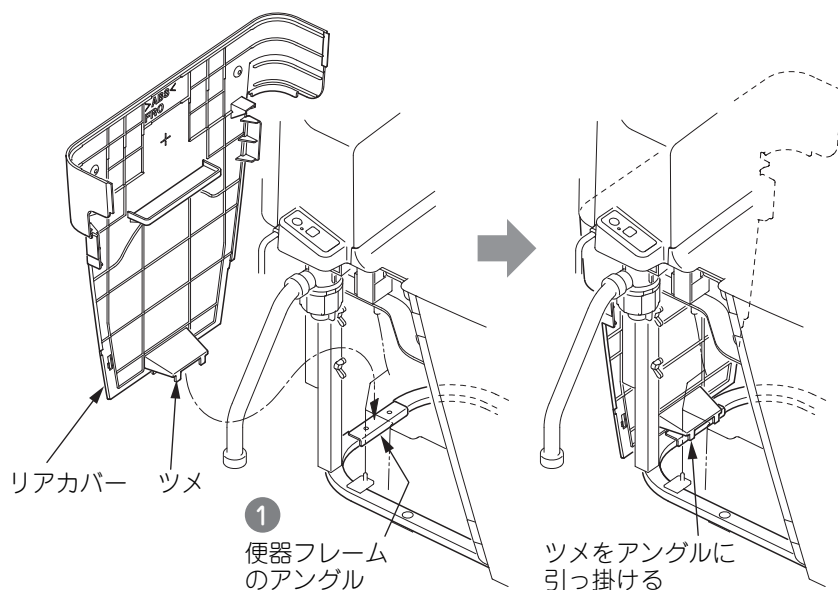
- リアカバーの下側のツメを便器フレームのアングルに引っ掛けてから、リアカバー上部を押して、取付穴を合わせてください。

2 リアカバーを「手順1」で外した取付ねじで取り付ける 2か所 9ページ参照

**ご注意**

- **取り付けには電動ドリルドライバーを使用しないでください。**
強いトルクで締めつけると破損の原因になります。

**リアカバーが取り付かない場合**

- 排水導入管Aが、排水口のつきあたりまで確実に差し込まれているか確認してください。
10ページ参照

手 順 8

## 給水ホース(上側)の取り付け

1 手洗い給水口に給水ホースを差し込む
2 クイックファスナーの切り欠きを給水ホース接続部の凸部にはめ込む
3 ファスナーロックをクイックファスナーの奥まで確実に差し込む

**ポイント**

- ファスナーロックが向かって右側にくるように取り付けてください。

**⚠ 注意**

必ず守る

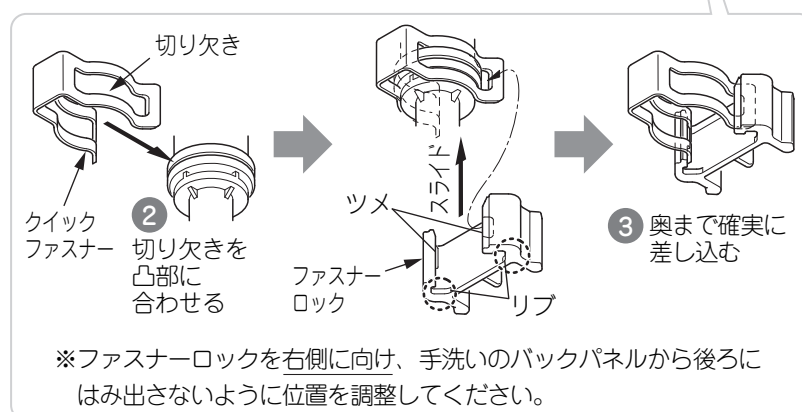
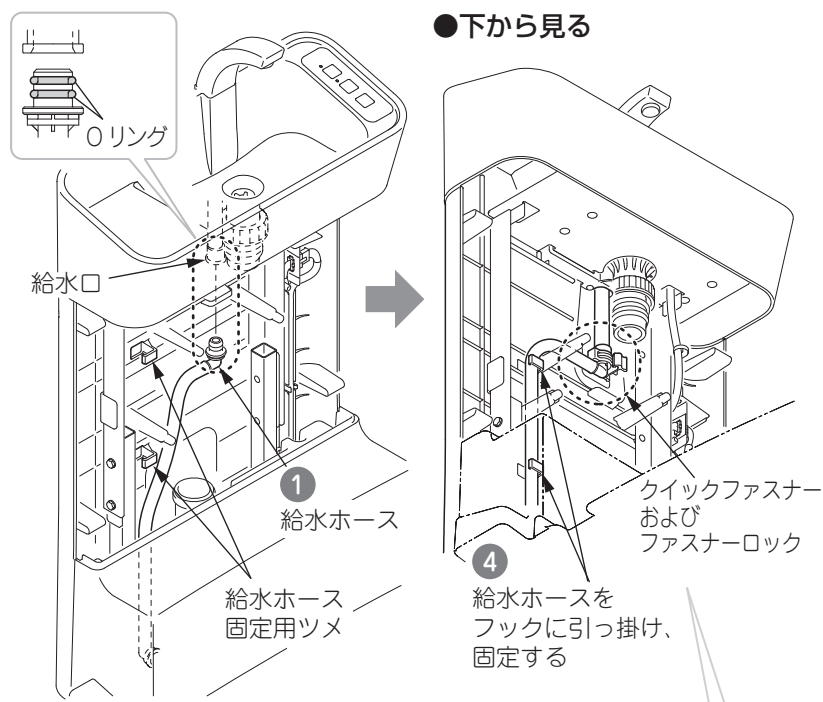
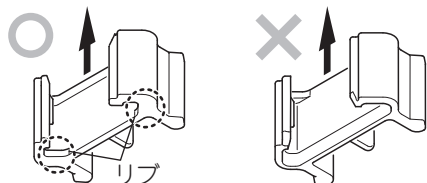
- **Oリングに汚れがついていたり、ねじれていたりしないか確認する**
- **クイックファスナーおよびファスナーロックを確実に差し込み、給水ホースが抜けないことを確認する**

水漏れの原因になります。

4 給水ホースをフックに止める 2か所

**ポイント**

- ファスナーロックは、リブ(突起部)の反対側から取り付けてください。

※ファスナーロックを右側に向け、手洗いのバックパネルから後ろにはみ出さないように位置を調整してください。

手順9

## 排水導入管Bの取り付け

1 排水導入管Bを排水導入管Aへ差し込む

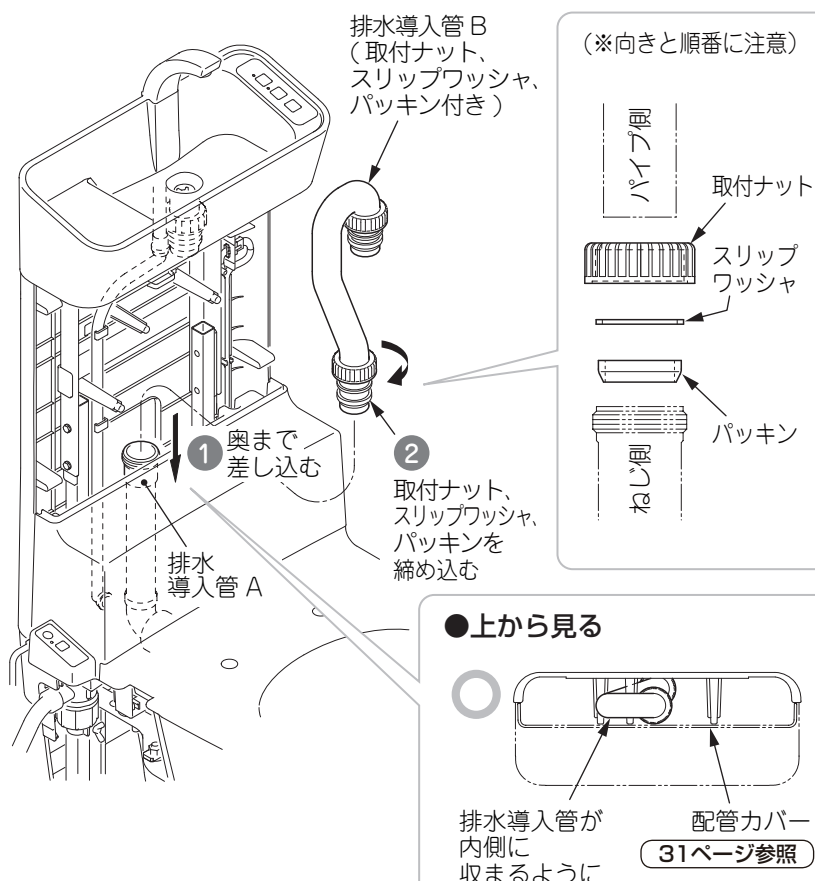
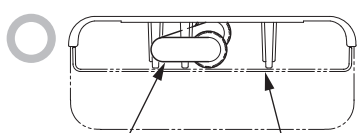
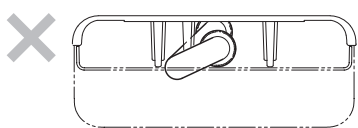
2 取付ナット、スリップワッシャ、パッキンを締め込み固定する

⚠ 注意

必ず守る

● スリップワッシャとパッキンを正しい向きと順番で確実に締め込む
水漏れの原因になります。

**ご注意**

● **排水導入管が手洗いの内側に収まるように、横向きに取り付けてください。**
手前に向くと、後工程で配管カバーを取り付けられなくなります。31ページ参照

手順10

## 排水導入管Cの取り付け

1 排水導入管Cを排水導入管Bおよび手洗いボール排水口に差し込み接続する

2 取付ナット、スリップワッシャ、パッキン 2か所 を締め込み、排水導入管Cを固定する

⚠ 注意

必ず守る

● スリップワッシャとパッキンを正しい向きと順番で確実に締め込む
水漏れの原因になります。

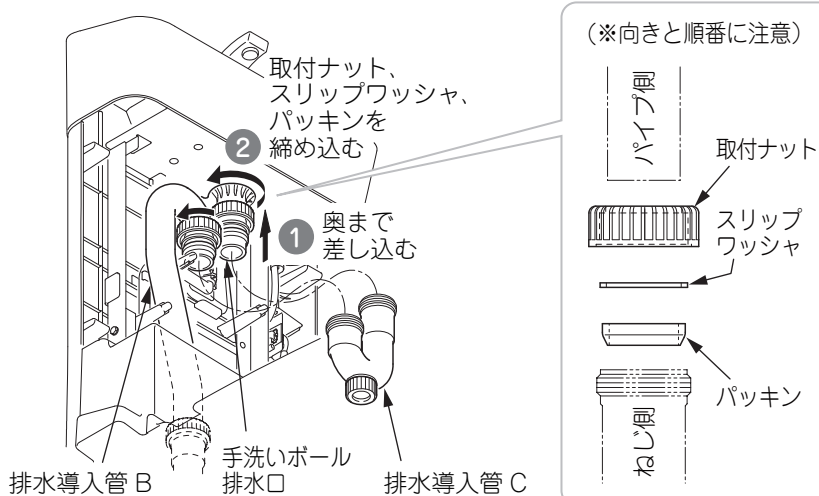
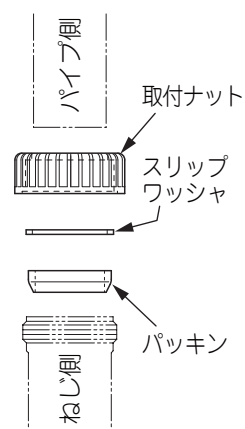
**ポイント**

● 配管カバーは後工程で取り付けます。
31ページ参照

●下から見る

H 標準タイプの場合→次ページ ／ R リフォームタイプの場合→19ページ



手洗い

# 標準タイプの取り付け

- 標準タイプの場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。
- ここでは、手洗い無しのイラストで説明しています。

## ⚠ 警告

禁　止

● **分解や改造はしない**
感電・火災・けがの原因になります。

必ず守る

● **必ず施工説明書に従って施工する**
感電・火災・けがの原因になります。

手 順 1

## 配管工事（止水栓の取り付け）

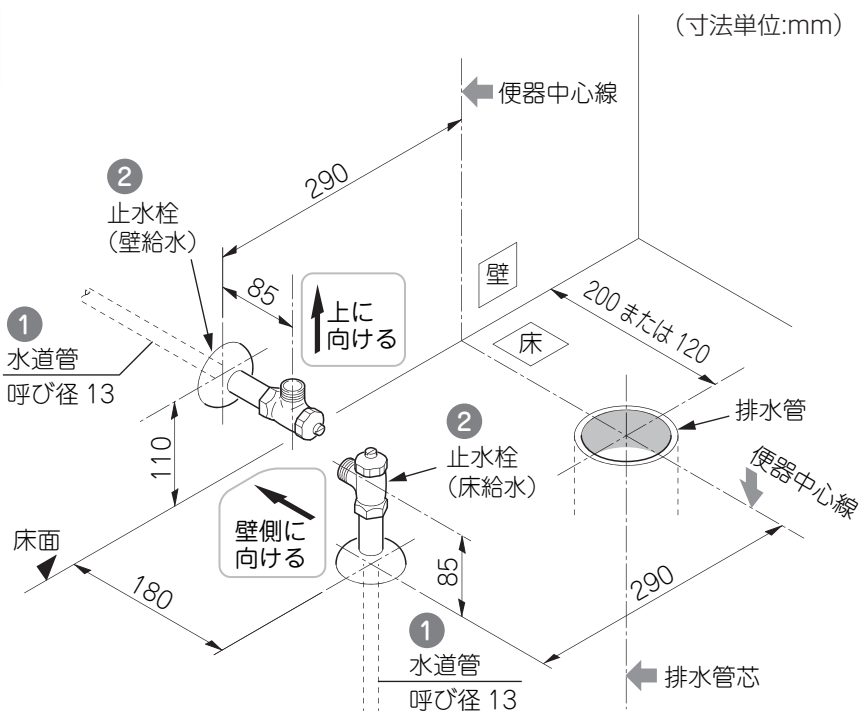
### ⚠ 注意

必ず守る

● **止水栓にがたつきがないことを確認する**
水漏れの原因になります。

1 給水位置まで水道管を設置する
2 同梱の止水栓を取り付ける

**ご注意**

- **配管接続口を壁給水の場合は上向きに、床給水の場合は壁向きにしてください。**
  便器洗浄水量が不足する原因になります。
- **必ず、同梱の止水栓を使用してください。**
  他の止水栓を使用すると、便器洗浄性能を損う原因になります。

手 順 2

## 床工事

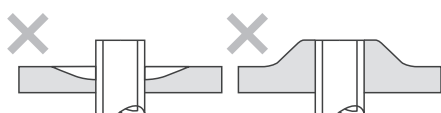
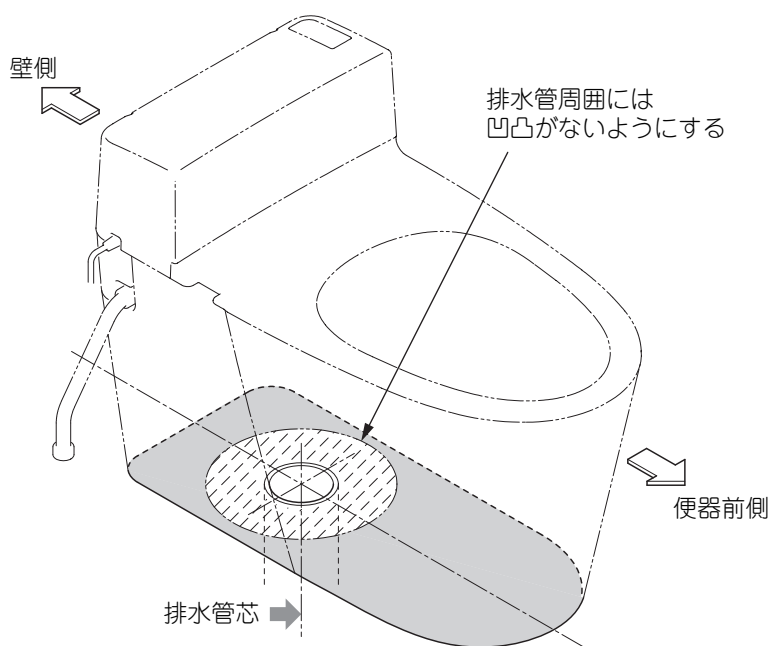
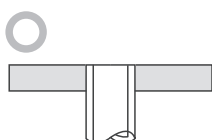
1 床面を水平に仕上げる

### ⚠ 注意

必ず守る

● **床面は、水平に施工する**
凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。

**ご注意**

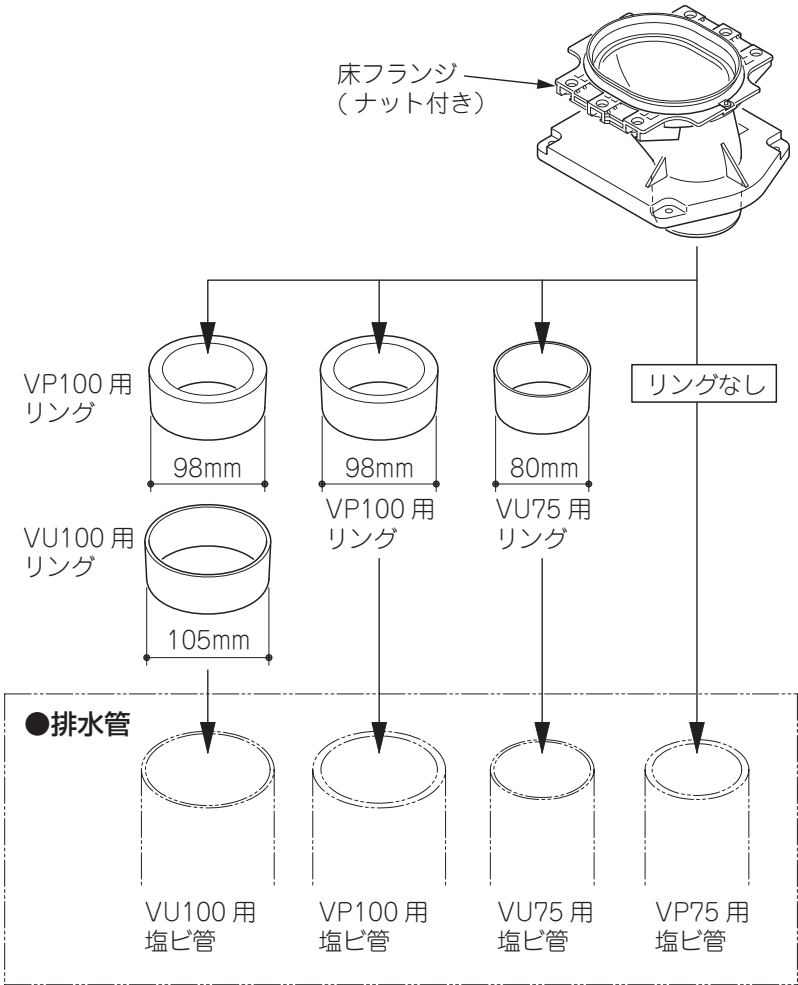
- **排水管周囲は、凹凸がないようにしてください。**
  施工不良の原因になります。

手順 3

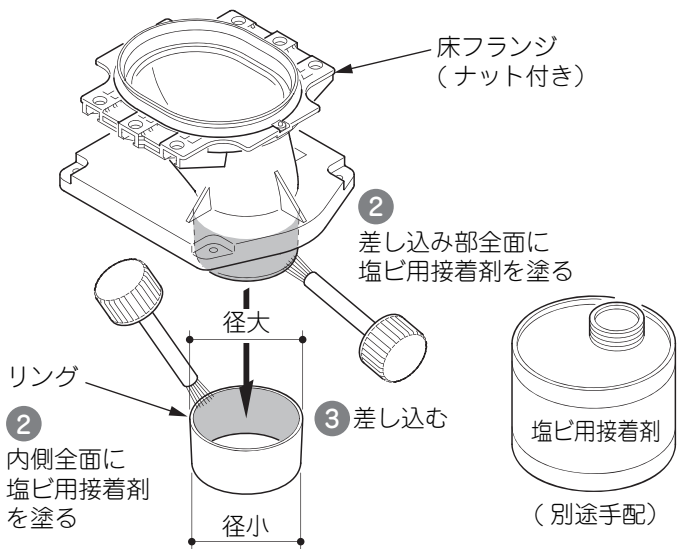
## 床フランジとリングの接着

# ⚠ 注意

- **リングとの接着は、排水管･リングの種類の適合、接着向きを正しく行う**
- **リングとの接着は、塩ビ用接着剤を接着面全面に塗り奥まで十分接着する**
  床フランジ部からの水漏れ、臭気もれの原因になります。

**1** 右図を参照して、排水管に適合するリングを選ぶ

**使用しないリングについて**
- 自治体の基準にしたがって破棄してください。

**2** リング内側全面および床フランジ（ナット付き）の差し込み部全面に塩ビ用接着剤を塗る
（塩ビ用接着剤は別途手配ください。）

**3** リングの径の小さい方を下側にし、床フランジ（ナット付き）をリングに差し込み接着する

手順 4

## 床フランジの取り付け

1 排水管と床面が面一であることを確認する
2 塩ビ用接着剤を排水管内側全面および床フランジ(ナット付き)の差し込み部全面に塗る(塩ビ用接着剤は別途手配ください。)
3 床フランジ(ナット付き)を排水管に、床面にあたるまで差し込む

**ご注意**

- **床フランジ(ナット付き)の中心を便器中心線に合わせてください。**
- **排水管の壁からの位置により床フランジ(ナット付き)の向きが異なるので注意してください。**
  図を参照して向きを確認してください。向きを間違えると正しく施工できなくなります。

**ポイント**

- 床フランジ(ナット付き)のフランジ部が必ず床仕上げ面の上に載るようにしてください。
- 床材がタイルの場合は、木栓またはPYプラグを使用してください。
- 床フランジ(ナット付き)のフランジ部下面がタイルに接するようにしてください。

(寸法単位:mm)

●排水管芯が壁から 200mm の場合

●排水管芯が壁から 120mm の場合

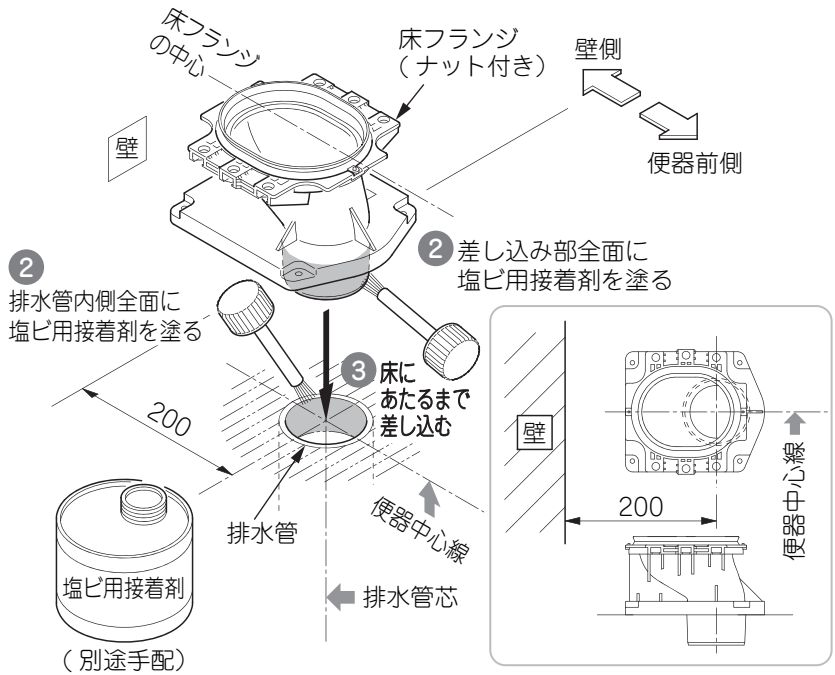
4 床フランジ(ナット付き)をトラスタッピンねじ φ5×35mm で固定する 4か所
5 2階以上のトイレルームの場合は、床フランジ(ナット付き)のまわりをシーリング防水する

## ⚠ 注意

禁 止

- **床フランジを無理な力で固定しない、また、割れたまま使用しない**
  水漏れの原因になります。

必ず守る

- **2階以上のトイレルームに設置するときは、必ず床フランジまわりにシーリングを行う**
  階下への水漏れのおそれがあります。
- **床フランジの床からの浮きがないようにしっかりと固定する**
  便器のぐらつきや、水漏れの原因になります。

手順 5

## 便器の取り付け

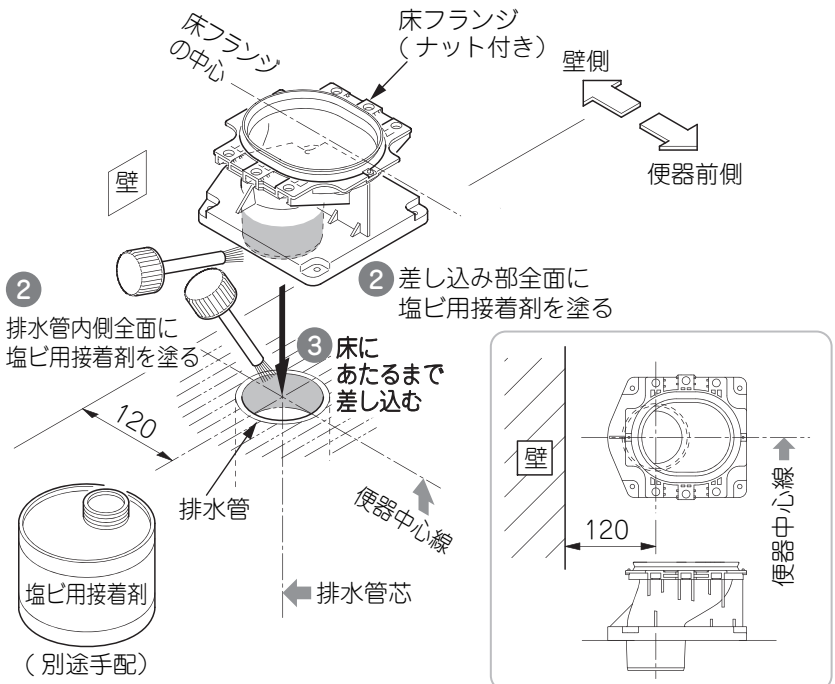
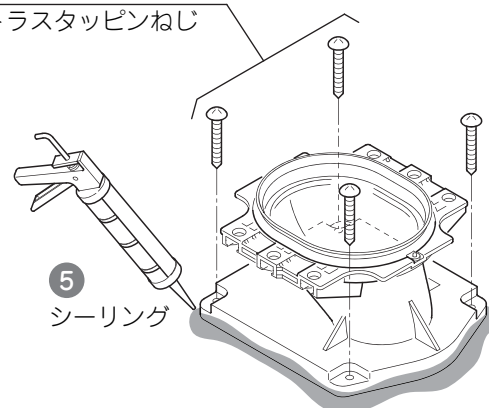
### 警告

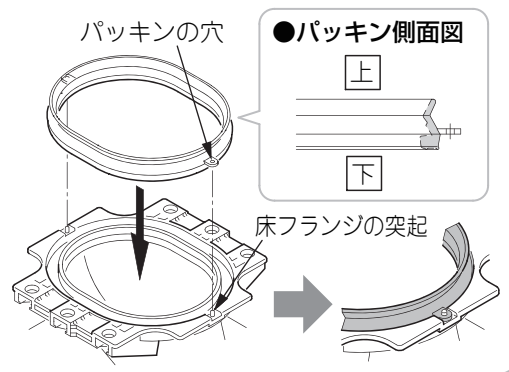
禁 止

- **便器を取り付けるとき、電源コードをはさみ込まない**

火災や感電の原因になります。

### 注意

必ず守る

- **便器ががたつきがないことを確認する**
- **床フランジに取り付けるパッキンの上下を逆にして取り付けない、また、パッキンを必ず取り付ける**

水漏れの原因になります。

**1** 標準タイプ用型紙を床フランジ(ナット付き)の形状にあわせて置く

**ポイント**

- 便器の設置角度を正しくするために型紙の便器中心線と側面の壁が平行になるように置いてください。

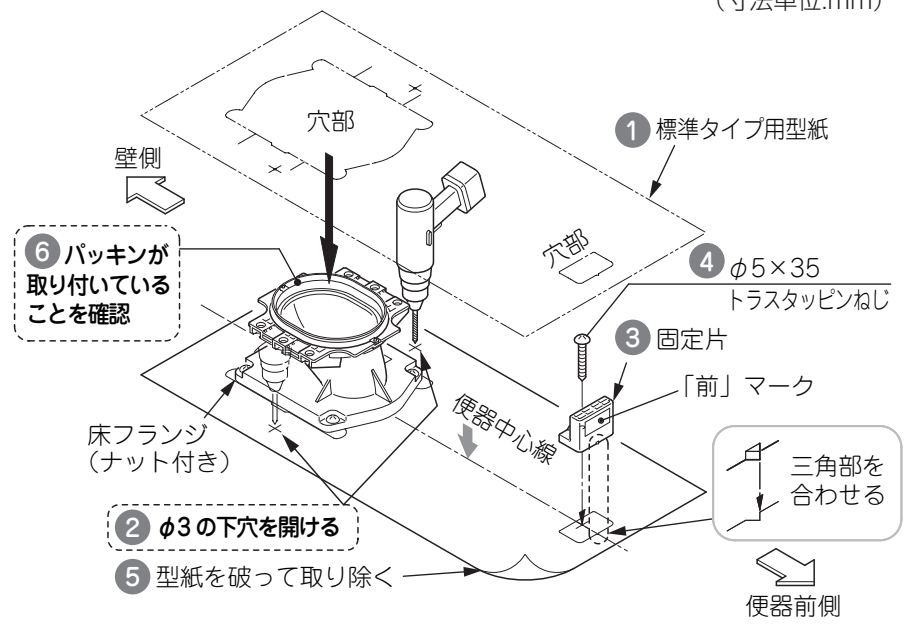
**2** 床固定位置(型紙の+部)にφ3mmの下穴を開ける 2か所

**3** 固定片の「前」マークを便器前側にして、型紙の穴部に置く

**4** 固定片をトラスタッピンねじ φ5×35mm で固定する 1か所

**5** 標準タイプ用型紙を破って取り除く

**6** 床フランジ(ナット付き)の上部にパッキンが取り付いていることを確認する

(寸法単位:mm)

**7** 便器を床フランジ(ナット付き)に六角ボルト M8×30mm と平座金 8.5×22×1.5mm で固定する 2か所

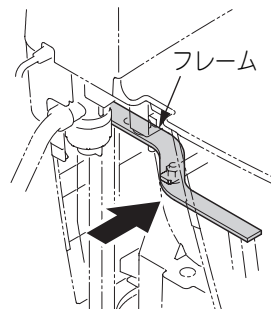
**8** 便器を床にアプセットタッピンねじ φ6×45mm と平座金 6×16×1.0mm で固定する 2か所

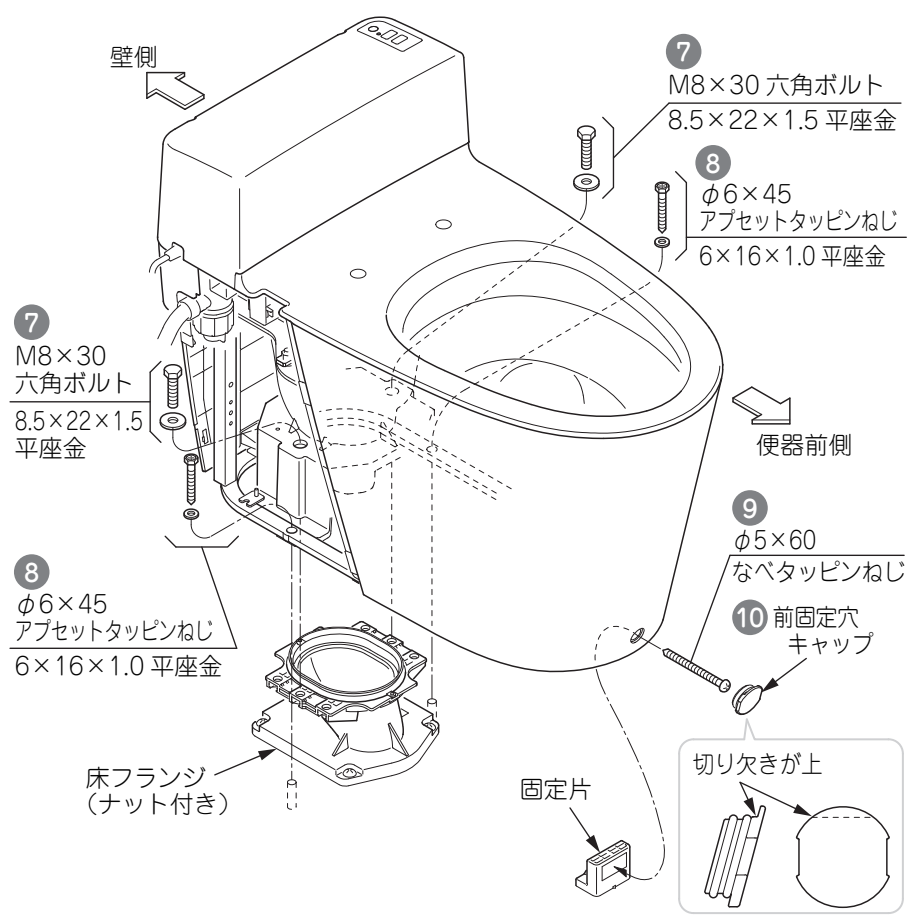
**9** 便器前方を固定片になべタッピンねじ φ5×60mm で固定する 1か所

**10** 前固定穴キャップを、切り欠きを上にして便器前方にはめ込む

**ポイント**

- 便器を持つときはこのフレームに両側から手を掛けて持ち上げてください。

フレーム

- 便器と床のすき間がなくなるまでアプセットタッピンねじを締めつけてください。
- 固定片の取付ねじは破損しないようゆっくりと締めつけてください。

共通 共通の施工手順→25ページ 「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合は、「アラウーノ専用手洗い」付属の説明書を参照して配管を連結してください。

# リフォームタイプの取り付け

- リフォームタイプの場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。

## ⚠ 警告

禁　止

- **分解や改造はしない**
  感電・火災・けがの原因になります。

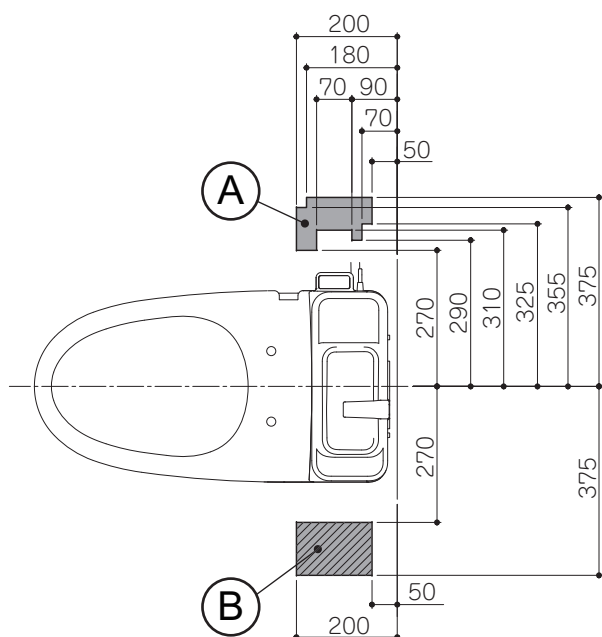
必ず守る

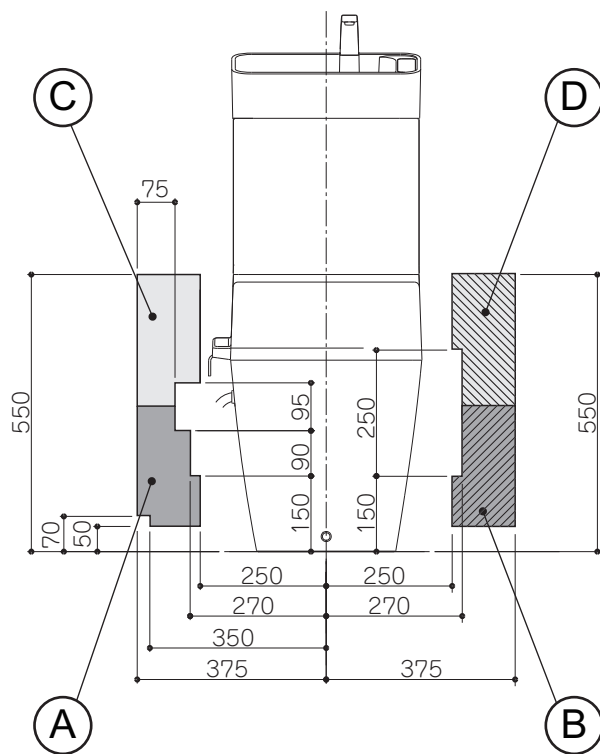
- **必ず施工説明書に従って施工する**
  感電・火災・けがの原因になります。

手 順 1

## 給水位置の確認

1 既設給水位置が下図の給水可能範囲内にあることを確認する

**●床給水の場合**

（寸法単位 :mm）

**●壁給水の場合**

（寸法単位 :mm）

| 記号 | 説明 | 記号 | 説明 |
|---|---|---|---|
| Ⓐ | 付属の給水ホースのみを使用した場合の給水接続可能位置 | Ⓒ | 付属の給水ホースのみを使用した場合の給水接続可能位置<br>※「アラウーノ専用手洗い」の左設置不可 |
| Ⓑ | オプションの延長給水ホース（長さ1m、品番：CH100R01）を使用した場合の給水接続可能位置 | Ⓓ | オプションの延長給水ホース（長さ1m、品番：CH100R01）を使用した場合の給水接続可能位置<br>※「アラウーノ専用手洗い」の右設置不可 |

※右給水の場合、50cmの延長給水ホース（CH100R02）では長さが足りません。

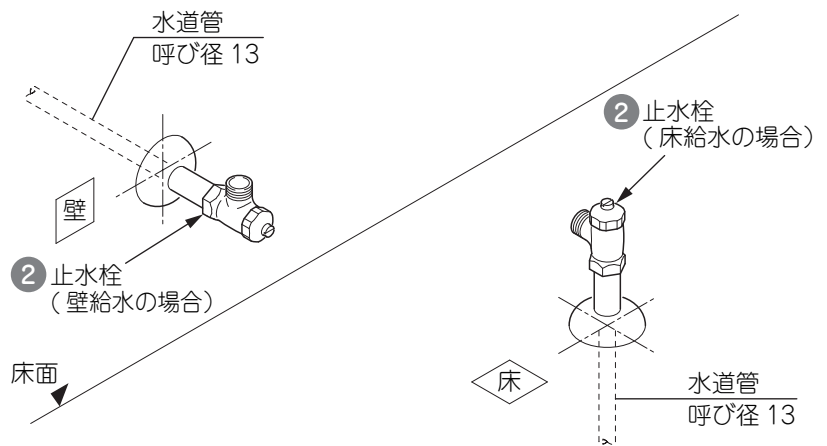
手 順 2

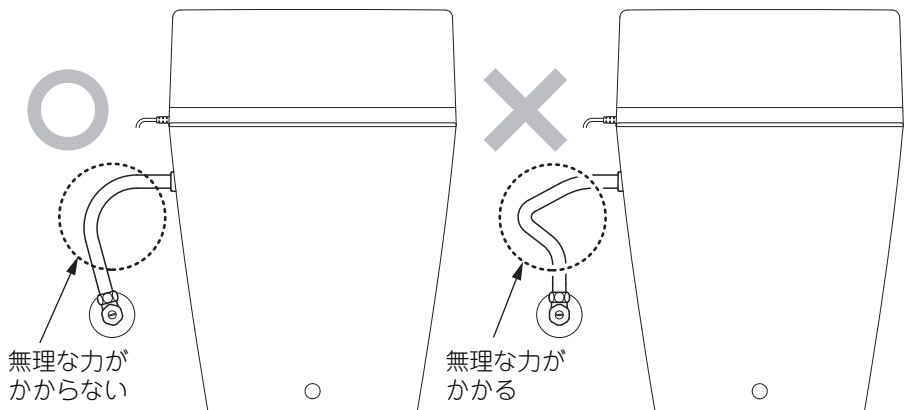
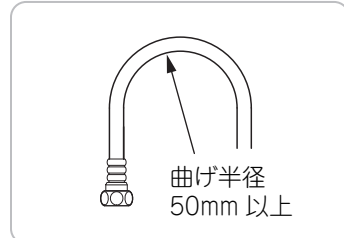
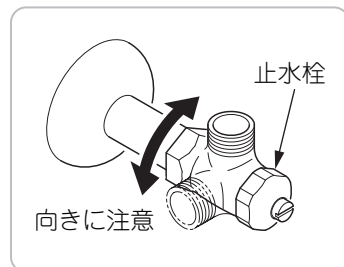
## 止水栓の取り付け

**⚠ 注意**

必ず守る

● **止水栓にがたつきがないことを確認する**
水漏れの原因になります。

1 水道の元栓を閉める
2 既設の給水位置に同梱の止水栓を取り付ける

**ご注意**

- **必ず、同梱の止水栓を使用してください。**
  他の止水栓を使用すると、便器洗浄性能を損う原因になります。
- **止水栓がゆるむ方向に力がかからないよう、止水栓の向きを調節してください。**
- **必ず、給水ホースが折れ曲がらないように取り付けてください。**

※図は壁給水のイラストで説明しています。
※床給水の場合においても、同様に止水栓の向きにご注意ください。

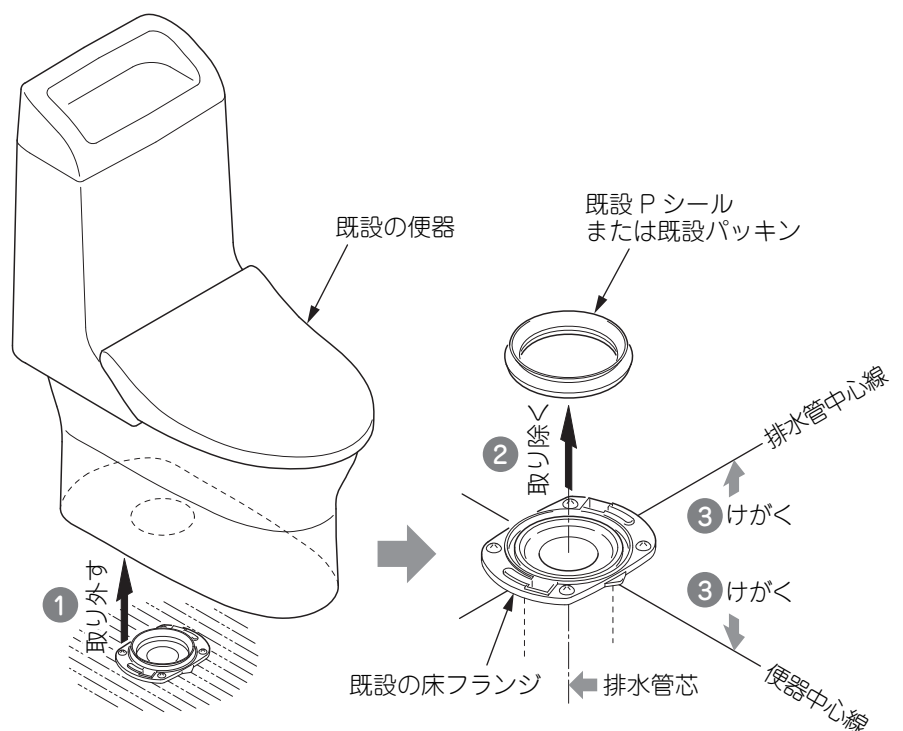
手 順 3

## 既設便器の取り外し

1 既設の便器を取り外す
2 既設Pシールまたは既設パッキンをきれいに取り除く
3 便器と排水管の中心線を床にけがく

**ポイント**

- 下記の場合は、アラウーノリフォーム用既設床フランジ [CH120FR01] を別途ご用意ください。

  ①既設の便器が床フランジを用いないタイプの場合
  ②既設の便器がPシールを用いないタイプの場合
  ③床フランジの損傷が激しい場合

リフォームタイプ

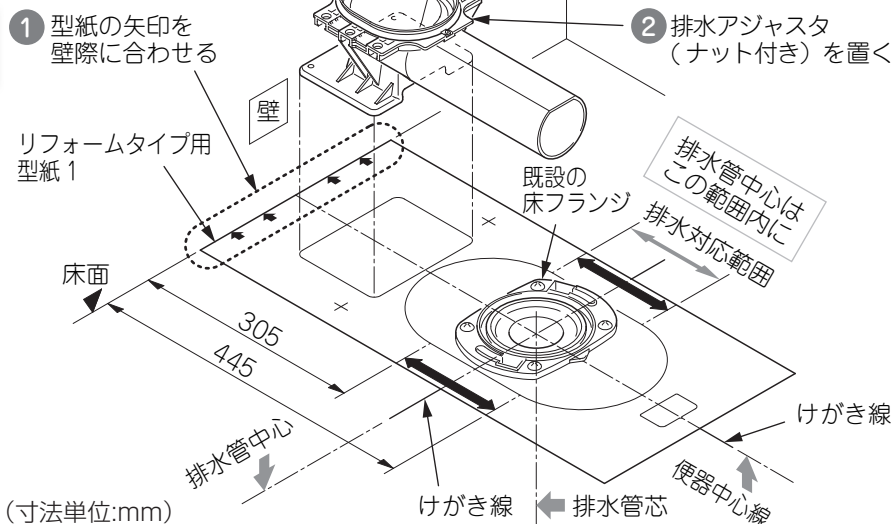
手順 4

## 排水アジャスタの横引管切断

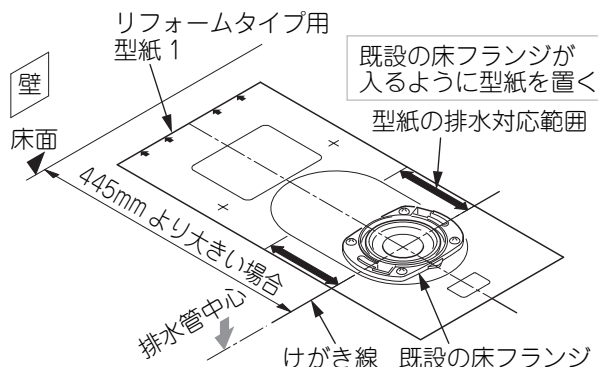
**1** リフォームタイプ用壁紙1を壁際に合わせて置く

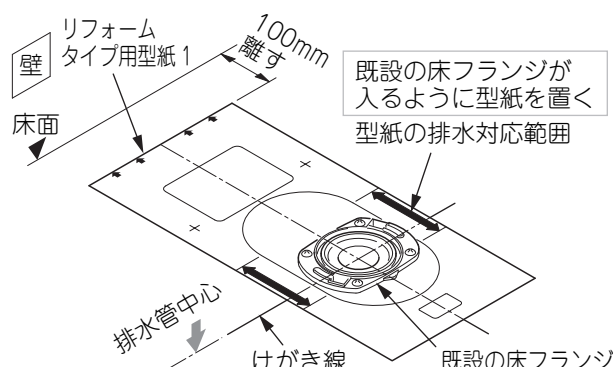
**ポイント**

- 便器の設置角度を正しくするために型紙の便器中心線と側面の壁が平行になるように置いてください。

**2** 排水アジャスタ(ナット付き)を型紙の形状にあわせて置く

(寸法単位:mm)

**ご注意:排水管の中心距離が445mmより大きい場合**

- **リフォームタイプ用型紙1の排水対応範囲に既設の床フランジが入るように型紙を置いてください。**

**ご注意:「アラウーノ専用手洗い 10cm前出しタイプ」と併設する場合**

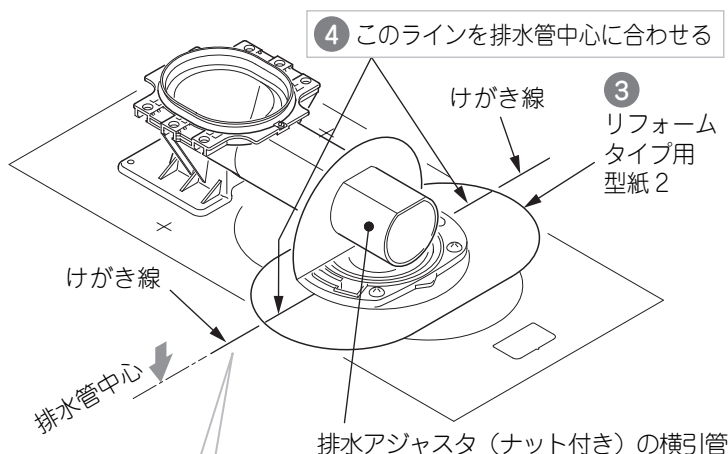
- **型紙を壁から100mm離して置いてください。**
  100mm以上離すと、「アラウーノ専用手洗い」の排水管を壁に沿って設置できなくなります。

**3** リフォームタイプ用型紙2をリフォームタイプ用型紙1に重ねて置く

**4** 排水アジャスタ(ナット付き)の横引管をリフォームタイプ用型紙2に差し込み、型紙のラインを排水管中心のけがき線に合わせる

**5** リフォームタイプ用型紙2の立ち上げ部分を垂直に立ち上げる

**6** 立ち上げ部分に沿って横引管を垂直に切断する

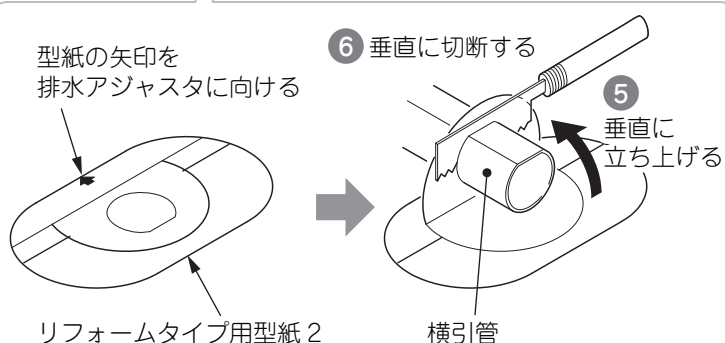
**7** 横引管端部のバリ、汚れをきれいに取り除く

**8** リフォームタイプ用型紙2を破って取り除く

## ⚠ 注意

必ず守る

- **排水アジャスタの横引管切断後、端部のバリ、汚れを完全に取り除く**
  水漏れの原因になります。

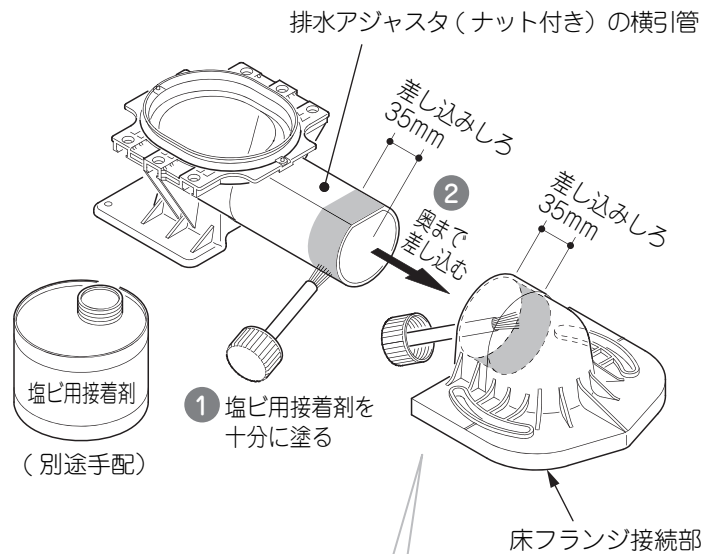
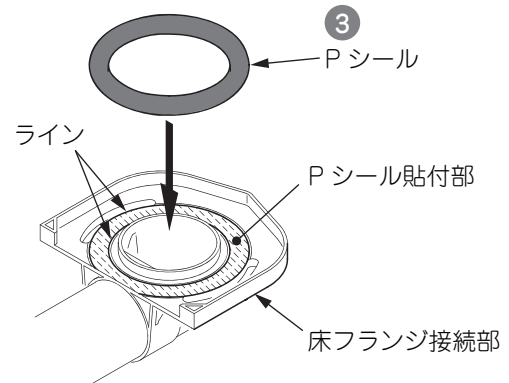
**ご注意**

- **リフォームタイプ用型紙1はまだ取り除かないでください。**
  後で排水アジャスタ(ナット付き)を床に取り付けてから取り除きます。

手 順 5

## 排水アジャスタの組み立て

1. 塩ビ用接着剤を床フランジ接続部内周および横引管の差し込みしろに塗る
（塩ビ用接着剤は別途手配ください。）
2. 横引管を床フランジ接続部に差し込んで接着する
3. Pシールを床フランジ接続部の指定の位置に貼り付ける

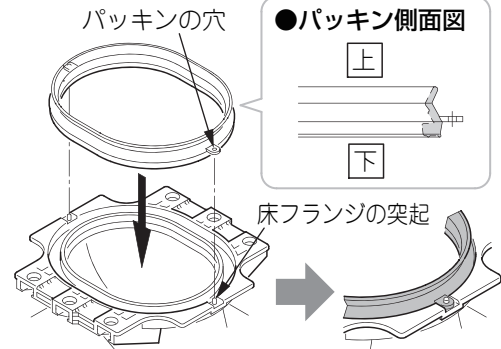
### ⚠ 注意

- **排水アジャスタの接着は接着面全面に塩ビ管用接着剤を十分に塗り、奥まで十分に差し込み接着する**
水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。
- **Pシールを二重で使用したり、排水管にはみ出した状態で施工しない**
排水不良になり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。
- **Pシールを2本のライン間(右図参照）に収まるよう、押し広げながら貼り付ける**
施工不良や水漏れの原因になります。とくに、Pシールが内側すぎると、Pシールが配管内に入り込み、排水不良の原因になります。

●床フランジ接続部を裏面から見る

**※P シールは必ず先に床フランジ接続部に取り付けてください。**

手順6

## 排水アジャスタ・固定片の取り付け

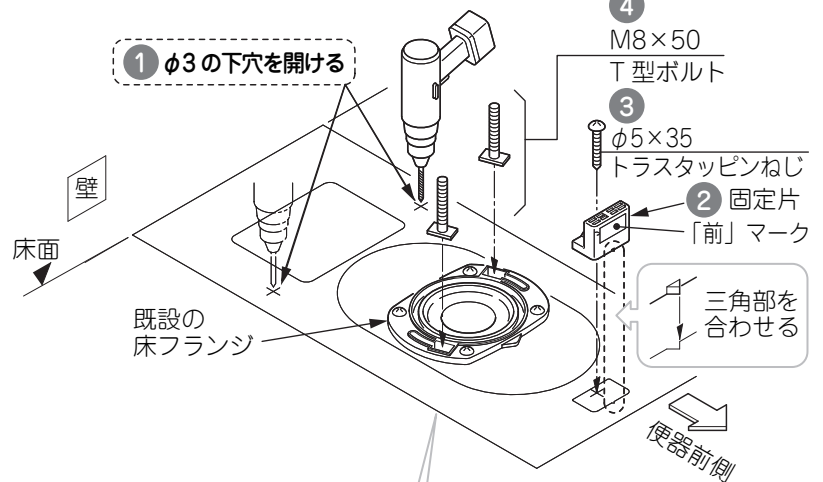
必ず守る

- 排水アジャスタを既設床フランジにしっかり固定する
- 排水アジャスタにがたつきがないことを確認する
- 排水アジャスタに取り付けるパッキンの上下を逆にして取り付けない、また、パッキンを必ず取り付ける
  水漏れの原因になります。

(寸法単位:mm)

1 リフォームタイプ用型紙1の床固定位置(型紙の+部)にφ3mmの下穴を開ける 2か所

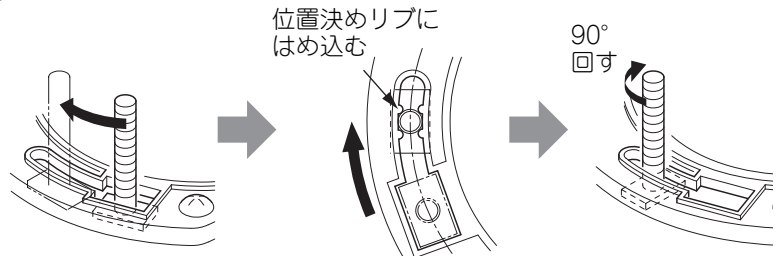
2 固定片の「前」マークを便器前側にして、型紙の穴部に置く

3 固定片をトラスタッピンねじ φ5×35mm で固定する 1か所

4 既設の床フランジにT型ボルト M8×50mm を取り付ける 2か所

5 排水アジャスタ(ナット付き)の上部にパッキンが正しく取り付けられていることを確認する

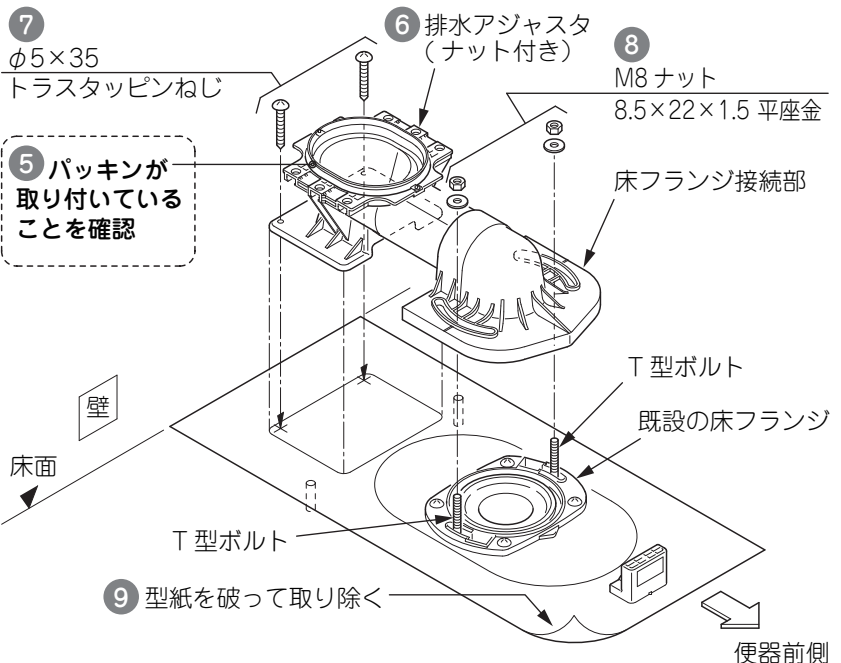
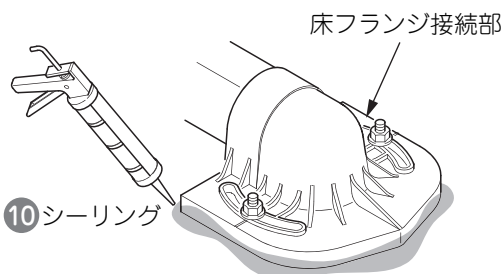
6 型紙の形状に合わせて「手順5」で組み立てた排水アジャスタ(ナット付き)を置く 22ページ参照

7 排水アジャスタ(ナット付き)を床面にトラスタッピンねじ φ5×35mm で固定する 2か所

8 排水アジャスタ(ナット付き)をナット M8 と平座金 8.5×22×1.5mm で固定する 2か所

**ポイント**

- 床フランジ接続部と床面とのすき間がなくなるまで左右均等に締めつけてください。

9 リフォームタイプ用型紙1を破って取り除く

10 2階以上のトイレルームの場合は、床フランジ接続部のまわりをシーリング防水する

手順7

## 便器の取り付け

## ⚠ 警告

禁止

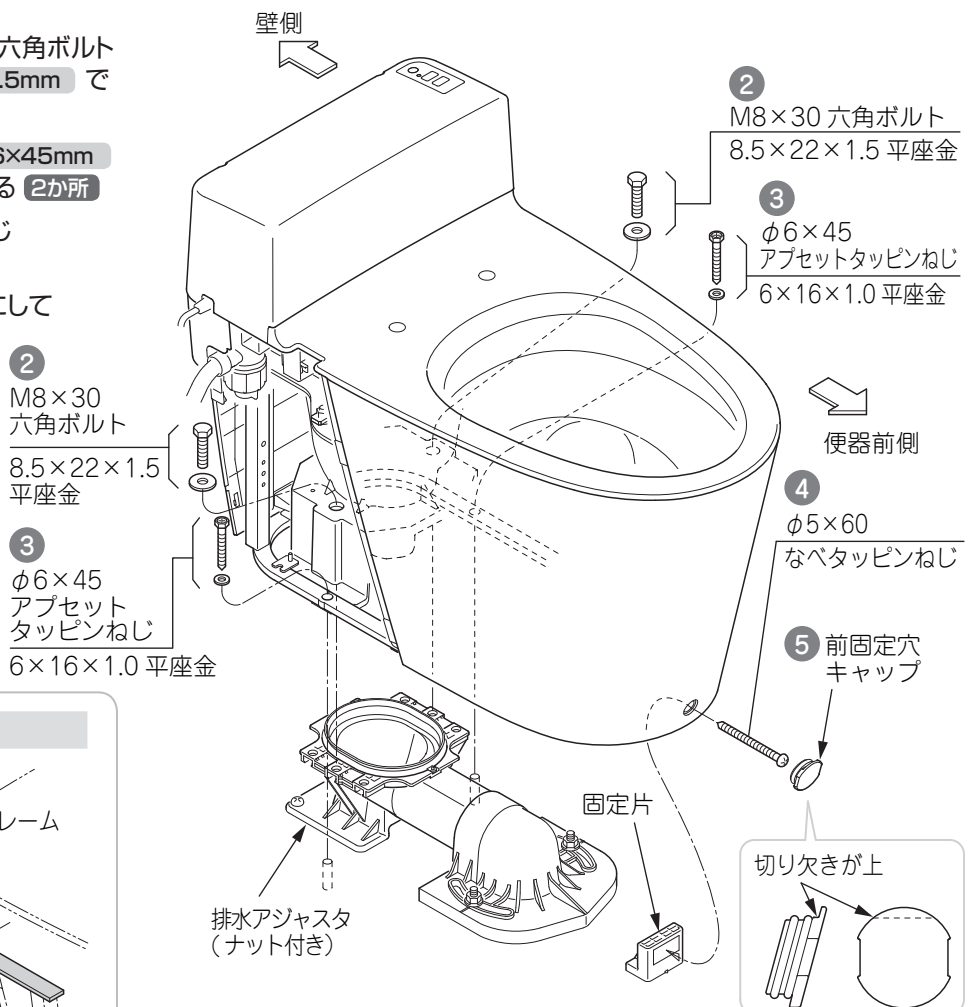
● **便器を取り付けるとき、電源コードをはさみ込まない**
火災や感電の原因になります。

## ⚠ 注意

必ず守る

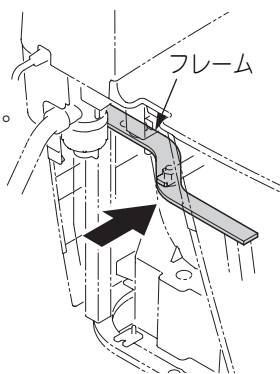
● **便器ががたつきがないことを確認する**
水漏れの原因になります。

（寸法単位:mm）

1. 延長給水ホース（オプション）を使用する場合、延長給水ホースを壁に沿って仮り置きする
（19・25ページ参照）
2. 便器を排水アジャスタ（ナット付き）に六角ボルト M8×30mm と平座金 8.5×22×1.5mm で固定する 2か所
3. 便器を床にアプセットタッピンねじ φ6×45mm と平座金 6×16×1.0mm で固定する 2か所
4. 便器前方を固定片になべタッピンねじ φ5×60mm で固定する 1か所
5. 前固定穴キャップを、切り欠きを上にして便器前方にはめ込む

**ポイント**

- 便器を持つときはこのフレームに両側から手を掛けて持ち上げてください。

- 便器と床面のすき間がなくなるまでナットを締めつけてください。
- 固定片の取付ねじは破損しないようゆっくりと締めつけてください。

共通 共通の施工手順→次ページ 「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合は、「アラウーノ専用手洗い」付属の説明書を参照して配管を連結してください。

# 共通の施工手順

● 全てのタイプで参照してください。

手順 1

## 止水栓への接続

⚠ 注意

必ず守る

● 止水栓にがたつきがないことを確認する
水漏れの原因になります。

**リフォームタイプのご注意**

● **リフォームタイプの場合は、既設給水位置が給水可能範囲にあるか確認してください。**
正しく施工できなくなります。
19ページ参照

**ご注意**

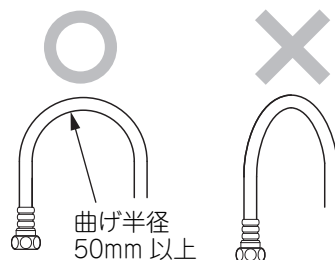
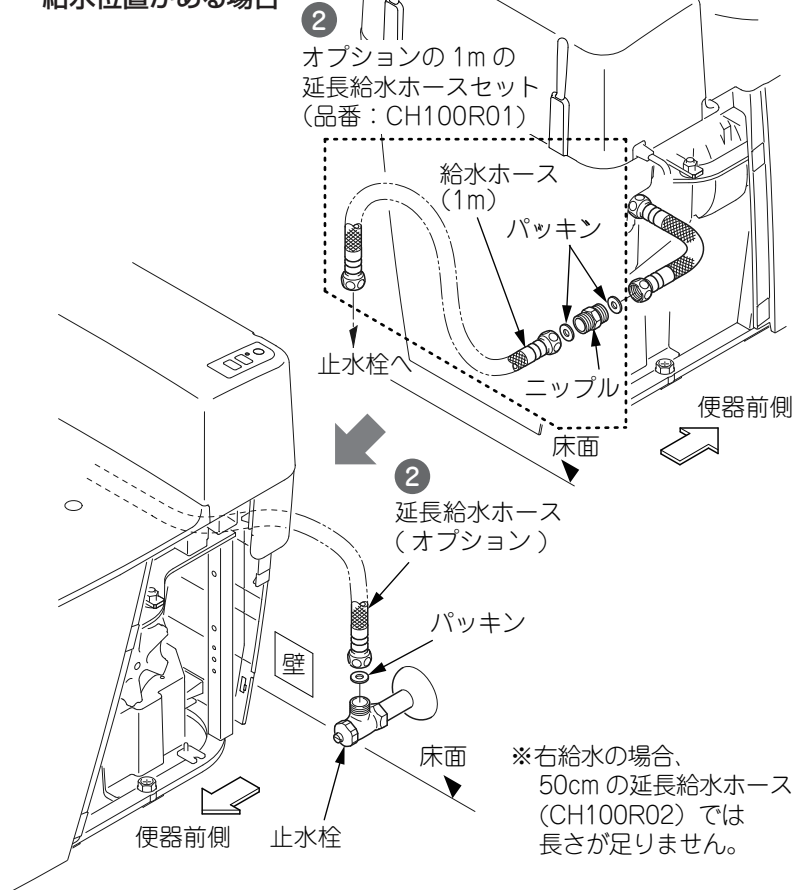
● **給水ホースのねじれや折れがないことを確認してください。**
便器洗浄水量が不足する原因になります。

1 別売の温水洗浄便座や「アラウーノ専用手洗い」を併設する場合は、付属の説明書にしたがって分岐金具を取り付ける

2 便器の給水ホースを止水栓に接続する

● **接続部詳細図**

※便器の給水ホースのみを止水栓に接続する場合のイラストです

● **正面から見て「左側」に給水位置がある場合**

● **正面からみて「右側」に給水位置がある場合**

※右給水の場合、50cm の延長給水ホース(CH100R02)では長さが足りません。

手順 2

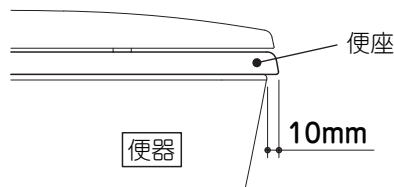
## 便座の取り付け

1 便座の説明書を参照して、便座の先端が便器の先端から10mm前に出る位置に便座を取り付ける

2 便座位置を調整する

※詳しくは便座の施工説明書をご参照ください。

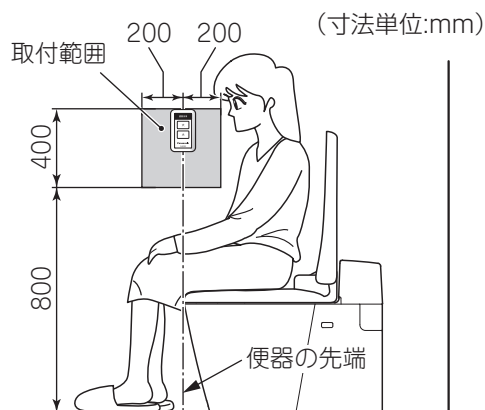
**便座位置の調整**

● 便座の先端が便器の先端から10mm前に出る位置が標準取付位置です。便座が標準取付位置より後ろに取り付いている場合、便ふた開時に手洗いにあたる場合があります。

手 順 3

## リモコンホルダーの取り付け（オプション）

1 リモコンホルダーの取り付け位置を確認する

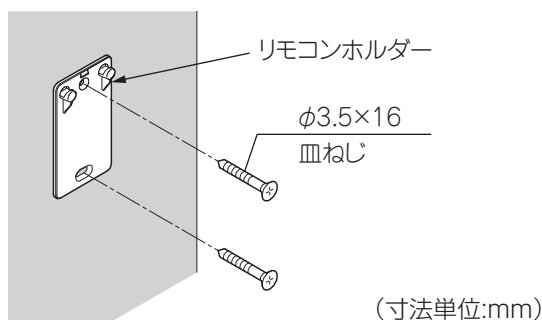
### リモコンホルダーの取付位置

- お客様と相談の上、便座に座った状態で使いやすい位置に取り付けてください。

### ご注意

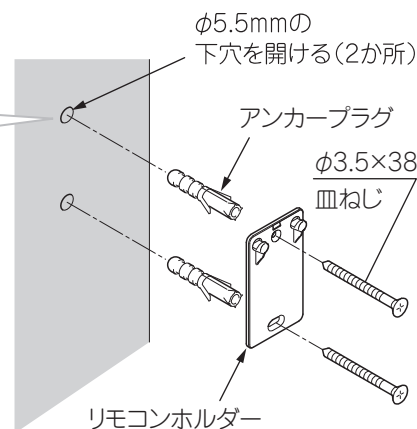
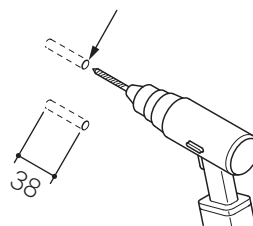
- **取り付け前に必ずリモコンの信号が受光できることを確認してください。**
- 壁紙や天井が黒色や濃い色の場合、リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。
- 同室で2台以上並べて設置される場合、隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。リモコン信号を変更できますので、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(有料)
- リモコンからの信号は、天井および壁からの反射光を便器に受光しますので､リモコンや便器受光部の上部に棚やカウンター・温水洗浄便座のリモコンなどを設置しないでください。
- 次のような場合、リモコンが作動しにくい場合があります。
  【直射日光がリモコン受光部・発光部にあたっている場合】
  直射日光をカーテンなどで遮断してください。
  【インバータ照明など特定の照明をご使用の場合】
  照明を消すと正常に動作する場合は、照明器具の交換をご検討ください。

### 厚み5mm以上の壁、柱などに取り付ける場合

2 リモコンホルダーを壁にあて、取付穴の目印をつける 2か所

3 リモコンホルダーを皿ねじ ϕ3.5×16mm で取り付ける

### 厚み5mm未満の中空壁、タイル・コンクリートなどに取り付ける場合

2 リモコンホルダーを壁にあて、取付穴の目印をつける 2か所

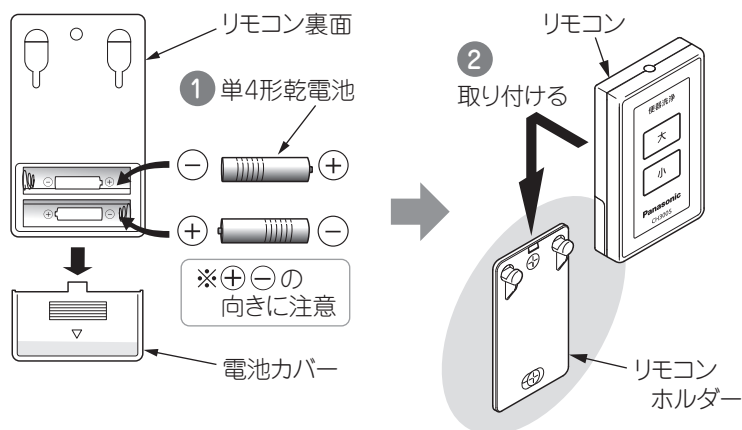
3 壁の種類別の取付方法でリモコンホルダーを取り付ける

手 順 4

## リモコンの取り付け（オプション）

1 単4形乾電池をリモコンに入れる

2 リモコンをリモコンホルダーに差し込む

### ⚠ 注意

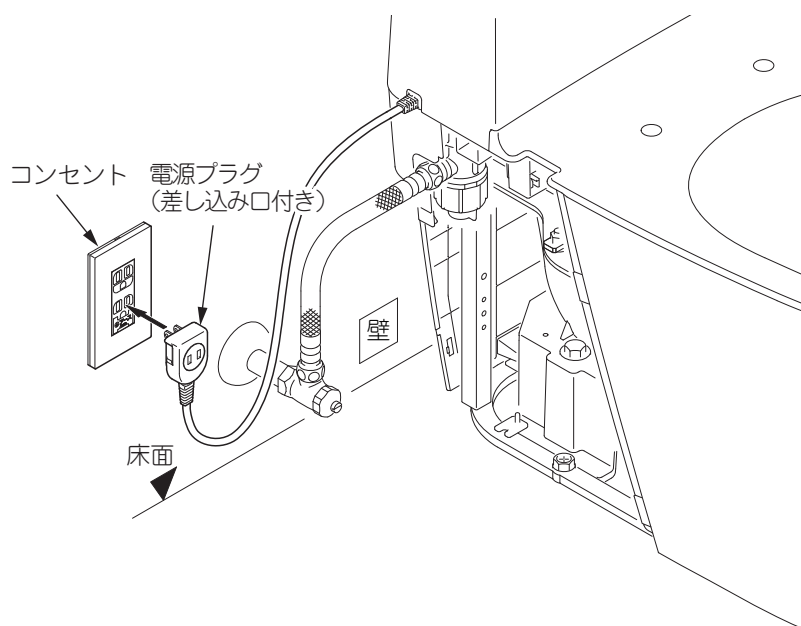
- **電池の⊕、⊖ を正しく入れる**
  取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。

手順 5

## 電源プラグの差し込み

1 水道の元栓を開ける
2 電源プラグ(差し込み口付き)をコンセントに差し込む

**寒冷地仕様の場合**

- 凍結のおそれがある場合は、凍結防止ヒーターの電源プラグもコンセントに差し込んでください。

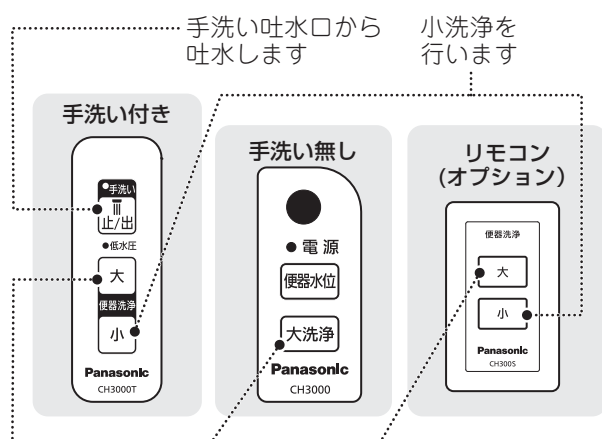
コンセント
電源プラグ
(差し込み口付き)
壁
床面

手順 6

## 試運転と水漏れの確認

1 止水栓を開く
2 便器洗浄[大]ボタンを押し、通水する
3 右図を参照し、止水栓および各部から水漏れがないことを確認する
4 各操作ボタンを押し、動作を確認する

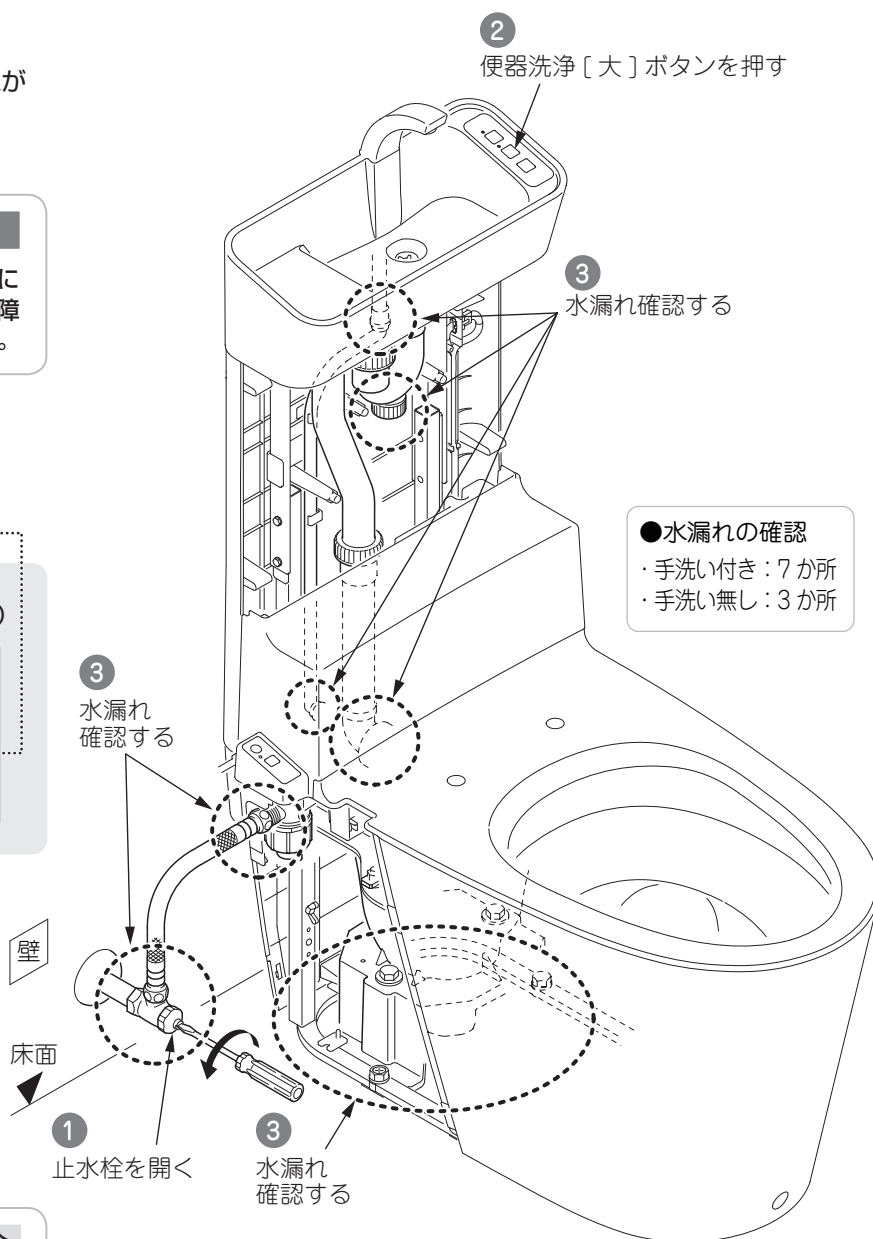
**ご注意**

- **通水経路に空気が残っている場合、便器洗浄後に手洗い吐水口から水が出ることがありますが故障ではありません。何度か通水すると止まります。**

### ④ 試運転

**ご注意**

- **金属部に水がかかった場合は必ずふきとってください。**
さびによる製品の損傷や汚れの原因になります。

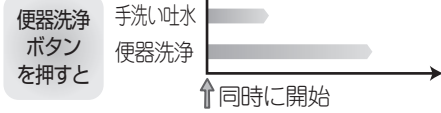
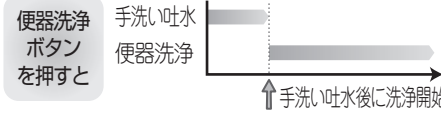
**「手洗い付き」でボタンを押しても水が出ない場合**

- 手洗いコネクタが挿入されているか確認してください。12ページ参照

## 低水圧地域の場合

### 手洗い吐水と便器洗浄のタイミングの変更（手洗い付きの場合）

出荷時は「便器洗浄と手洗い吐水が同時に行われる設定」になっています。止水栓が全開になっていることをご確認のうえ、下記の場合は、「手洗い吐水後に便器洗浄をする設定」に変更してください。

- **便器洗浄水の勢いが弱く、便器洗浄水が1周回らないとき**
- **低水圧ランプが点滅するとき**

・設定しないと十分な洗浄水量が得られないため、便やトイレットペーパーが便器洗浄面に残ったり、排水管が詰まることがあります。
・設定を変更しても便器洗浄水が1周回らないときは水圧が不足しています。水圧をご確認ください。

**1** [便器水位]ボタンを5秒以上押し続け、設定変更モードにする

- [便器水位]ボタンを押すと「ピ」と音がします。そのままボタンを5秒以上押し続けると、「ピピ」と音がして、電源ランプが点滅し、設定変更モードになります。

[便器水位]ボタンを押すと、機能上 便器の水位が約3cm下がります。異常ではありません。

**2** 手順**1**の後、10秒以内に便器洗浄[小]ボタンを押す

- 「ピ」と音がして、低水圧ランプが点灯し、「手洗い吐水後に便器洗浄する設定」に変更されます。

10秒以上放置すると設定変更ができなくなります。その場合は、便器洗浄ボタンを押して一度便器洗浄をした後、再び手順1からやり直してください。便器洗浄をしないと設定変更ができません。
リモコン(オプション)の[小]ボタンでは設定できません。

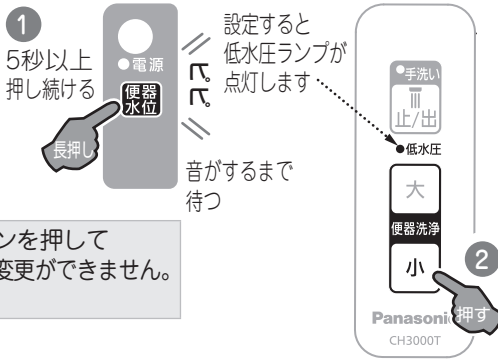
①5秒以上押し続ける　長押し　ピピ　音がするまで待つ
設定すると低水圧ランプが点灯します　②押す

**3** 設定を変更後、約10秒待つ、または[便器水位]ボタンを押す

- 「ピー」と音がして、電源ランプが点灯に変わり、通常動作に戻ります。

通常動作に戻らないと便器洗浄および手洗い吐水ができません。また便器水位を下げることができません。
通常動作に戻ってからも便器の水位は約3cm下がった状態です。便器洗浄ボタンを押す、または20分経過すると便器洗浄を行い、元の水位に戻ります。

**4** 元に戻したい場合は、再び**1**～**3**と同じ手順を行う

- 「ピー」と音がして、「便器洗浄と手洗い吐水が同時に行われる設定」に変更され、低水圧ランプが消灯します。

手順 7

### 便器洗浄水量の調節（市町村指定の場合）

**ご注意**

- **一部の地域では、使用条件が決められています。各行政機関の指示にしたがって設定してください。**

■モード一覧表（流動時:0.2MPaの時）

| モード | 大洗浄 | 小洗浄 |
|---|---|---|
| 標準モード(出荷時) | 4.6L | 3L |
| 増量モード1 | 5.7L | 3L |
| 増量モード2 | 8L | 3L |

**1** 電源プラグをコンセントから抜いて、10秒以上待つ

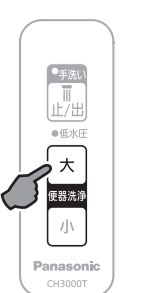
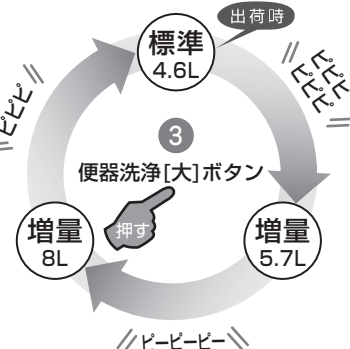
**2** [便器水位]ボタンを押しながら電源プラグをコンセントに差し込み、「ピピ」と音がするまでボタンを押し続ける

**3** 手順**2**の後、10秒以内に便器洗浄[大]ボタンを押して、洗浄水量を設定する

10秒以上放置すると設定変更ができなくなります。再びはじめからやり直してください。

**4** 設定を変更後、約10秒間待つ

- 通常動作に戻ります。

通常動作に戻ります。通常動作に戻らないと便器洗浄および手洗い吐水ができません。
また便器水位を下げることができません。

手順 8

## ストレーナの掃除

**ご注意**

- **必ずストレーナを掃除してください。**
  施工直後は、ストレーナに配管内の水アカやゴミ、シールテープなどが詰まります。

# ⚠注意

禁止

- **止水栓を閉じたままストレーナを外さない**
  水が吹き出し拡大損害になります。

必ず守る

- **ストレーナのねじ部に異物がないようにきれいに水洗いする**
- **ストレーナふたをしっかりと締めつける**
  水漏れの原因になります。

1 止水栓を閉じる
2 便器洗浄[大]ボタンを押す
3 水受けをストレーナの下に置く

**ご注意**

- **必ず水受けを置いてください。**
  ストレーナの取り外しの時に、約50cc～100cc程度の水がで出ますので、ストレーナを締めるまで水受けをご用意ください。
- **便器や床に水がかかった場合は必ずふきとってください。**

4 ストレーナふたを緩めストレーナを取り外す

**ご注意**

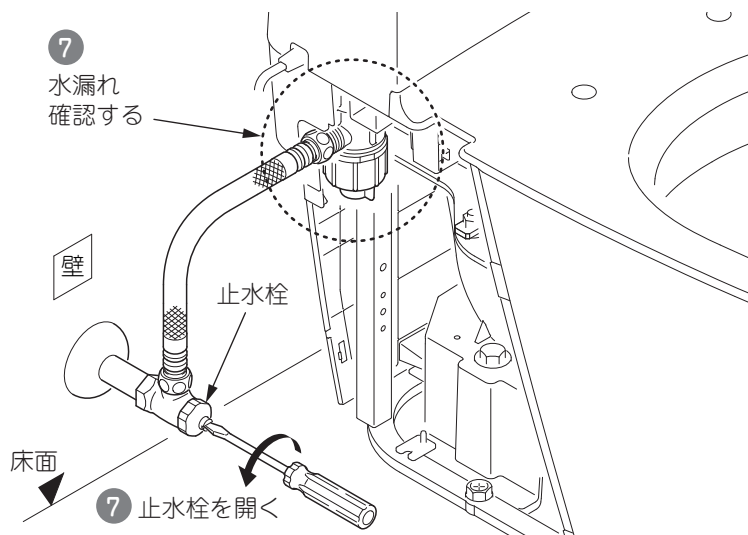
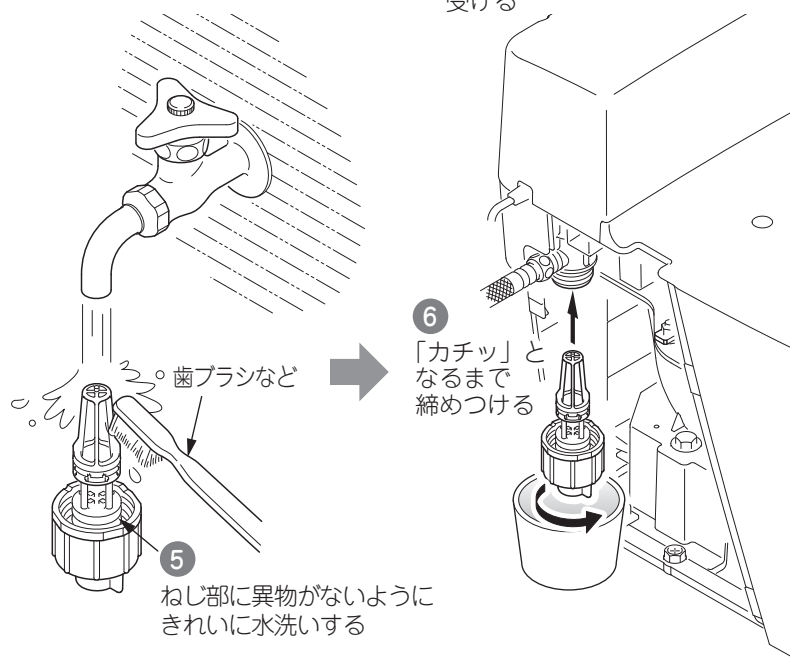
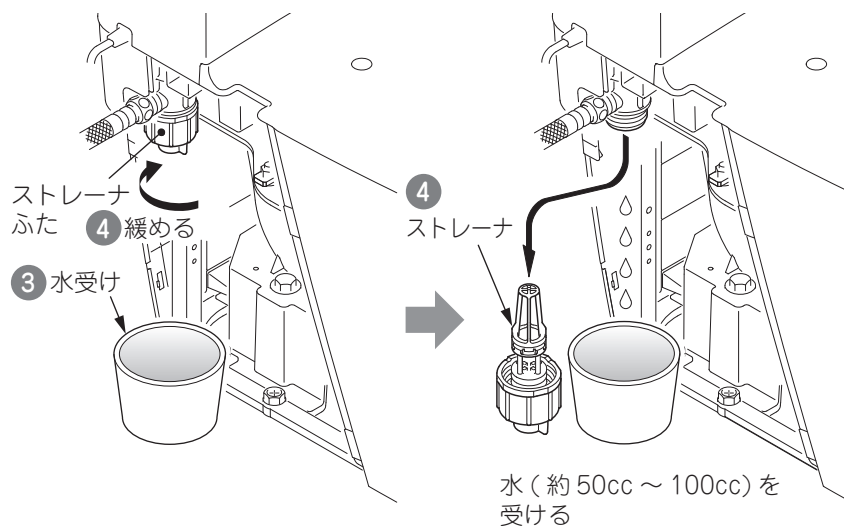
- **ストレーナの取り外しの際に、指をはさまないように注意してください。**

5 ブラシなどを使い、ストレーナをきれいに水洗いする
6 ストレーナを元通りに取り付ける
（ストレーナふたを「カチッ」となるまで締めつけてください。）



7 止水栓を開け、水漏れがないことを確認する

**ご注意**

- **施工後、長期間使用しない場合は、水抜きを行ってください。** 30ページ参照

## 施工後に、長期間使用しない場合（施工後、直ちに使用しない場合など）

### 便器内部の水抜き

**ご注意**

- **長期間使用しないときは、便器内部の水を抜き、電源プラグとリモコンの電池を抜いてください。** 便器洗浄面のため水は抜かないでください。
- **ストレーナの取り外しの際に、指をはさまないように注意してください。**
- **必ず水受けを置いてください。** ストレーナの取り外しの時に、約50cc ～ 100cc程度の水が出ますので、ストレーナを締めるまで水受けをご用意ください。

## ⚠ 注意

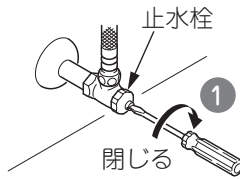
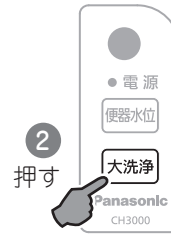
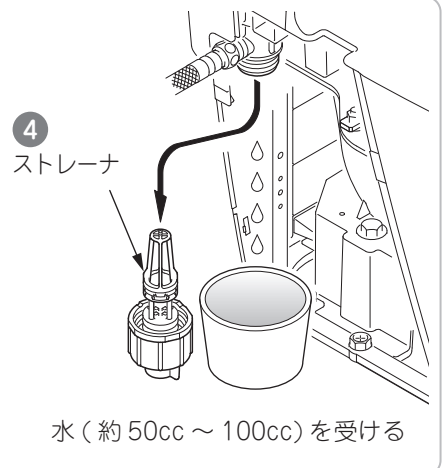
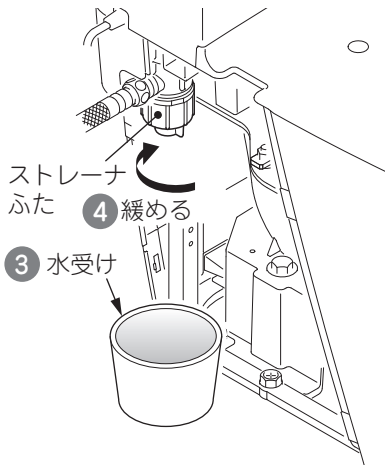
禁 止

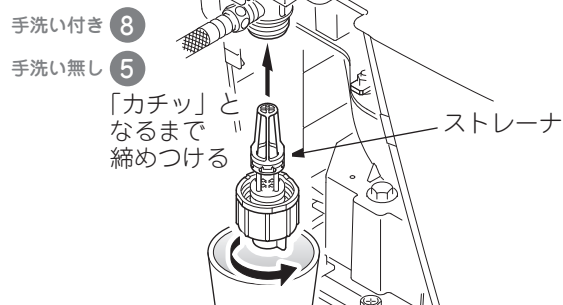
- **止水栓を閉じたままストレーナを外さない** 水が噴き出し拡大損害になります。

必ず守る

- **ストレーナふたをしっかりと締めつける** 水漏れの原因になります。

#### 手洗い付きの場合

1. 止水栓を閉じる
2. [手洗い止/出]ボタンを2回押す（手洗い給水ホース内の圧力を抜く）
3. 水受けをストレーナの下に置く
4. ストレーナふたを緩め、ストレーナを外す
5. [手洗い止/出]ボタンを5秒以上押し続ける（再び、手洗い給水ホース内の残圧を抜く）
6. 「ピピ」と音がするまで待つ（手洗いランプが点滅する）
7. 10分以上待って、手洗いランプが点滅しなくなることを確認する
8. ストレーナを元通りに取り付ける（ストレーナふたを「カチッ」となるまで締めつけてください。）

#### 手洗い無しの場合

1. 止水栓を閉じる
2. 便器洗浄[大]ボタンを押す（「ピピピ・ピピピ」と音がするまで待つ）
3. 水受けをストレーナの下に置く
4. ストレーナふたを緩め、ストレーナを外す
5. ストレーナを元通りに取り付ける（ストレーナふたを「カチッ」となるまで締めつけてください。）

手順９

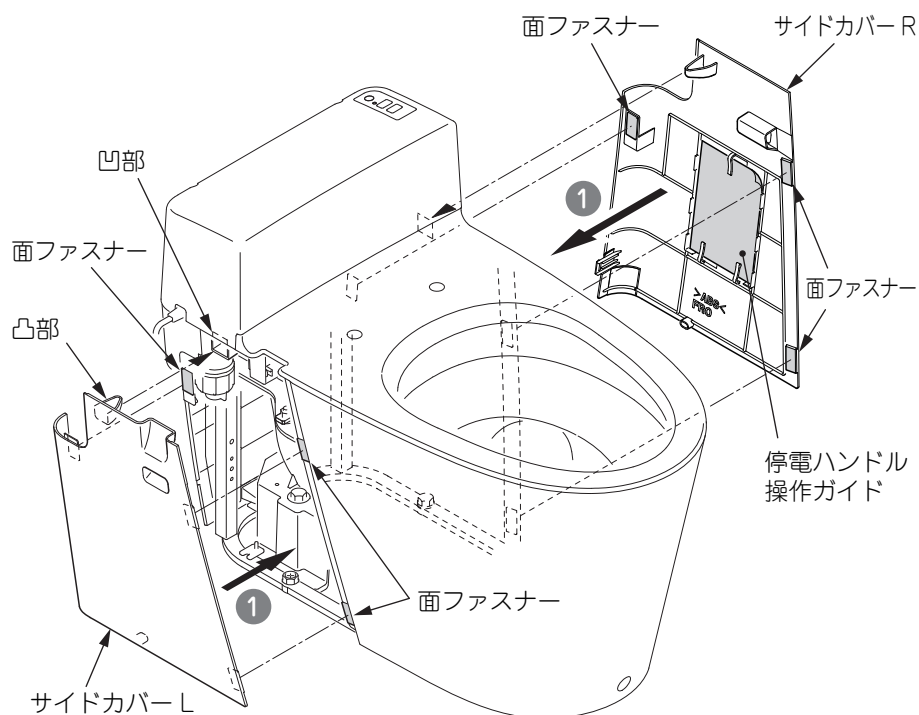
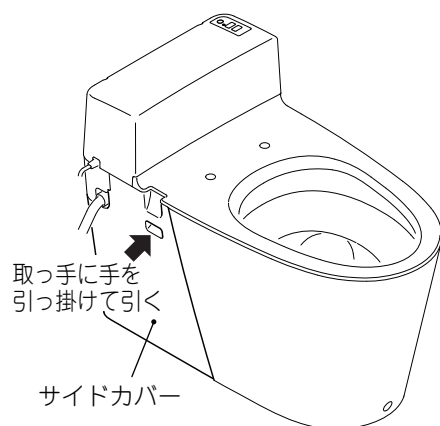
## サイドカバーの取り付け

**1** サイドカバー上部の凸部とフレームの凹部を合わせ、面ファスナー 3か所 を貼りあわせる

**ご注意**

- **サイドカバーRには「停電ハンドル操作ガイド」がはさみ込まれていますので、落とさないように注意してください。**

**サイドカバーを取り外すときは・・・**

- サイドカバーを取り外す場合は、取っ手に手を引っ掛けて引いてください。面ファスナーがはがれます。

手順１０

## 配管カバーの取り付け
（手洗い付きの場合）

**1** 配管カバーを手洗いになべタッピンねじ φ4×20mm で取り付ける 4か所

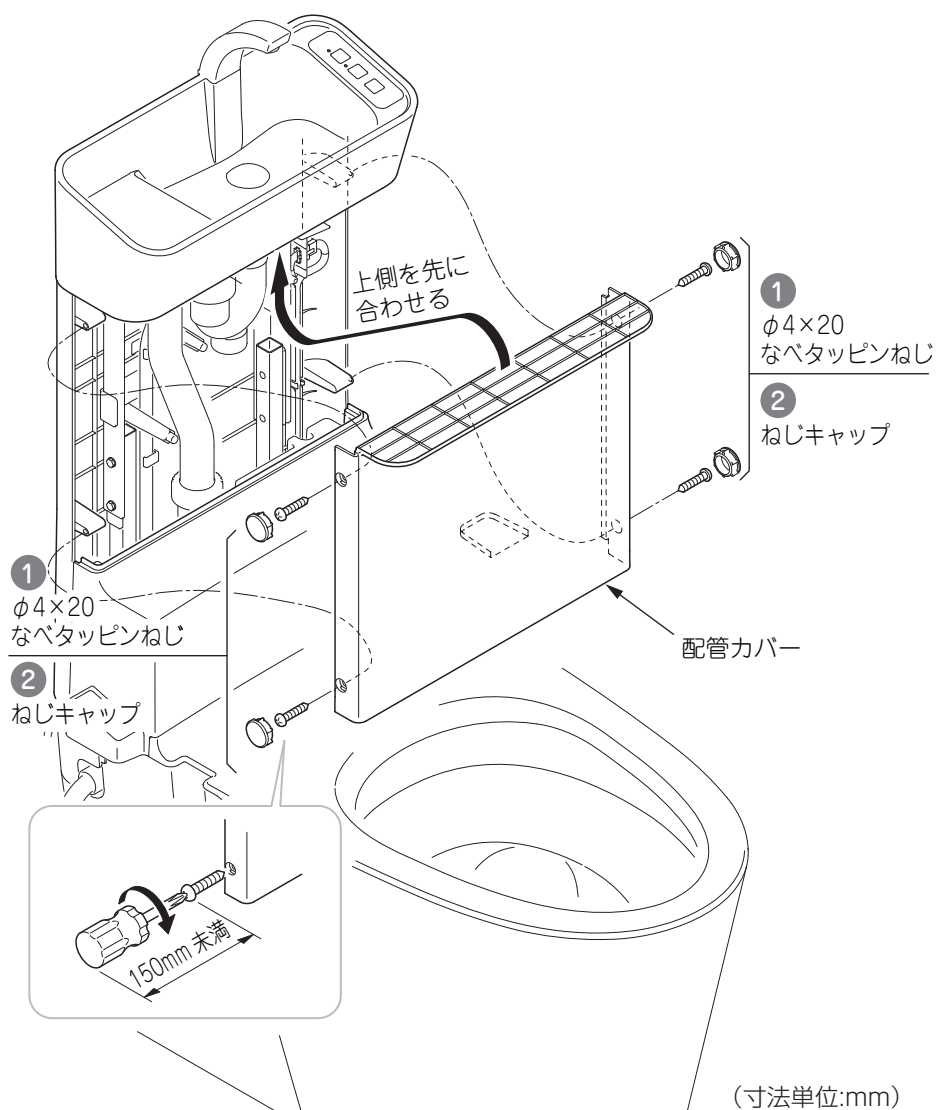
**2** ねじキャップを配管カバーにはめ込む 4か所

**ご注意**

- **ねじキャップに浮きがないことを確認してください。**
  ねじが確実に締まっていないとねじキャップに浮きがでることがあります。

**ご注意**

- **取り付けには電動ドリルドライバーを使用しないでください。**
  強いトルクで締めつけると破損の原因になります。

（寸法単位:mm）

# 施工完了チェックリスト

施工後必ず動作確認を行い、この施工完了チェックリストに施工点検結果を記入の上、お客様へお渡しください。

| No. | 内容 | 結果 |
|---|---|---|
| 1 | バスルーム内など、湿気の多い場所に設置していませんか？ | |
| 2 | 中水道や工業用水、井戸水に接続していませんか？ | |
| 3 | 便器にがたつきがありませんか？ | |
| 4 | 便器は床に固定しましたか？ | |
| 5 | 「止水栓」は開いていますか？（長期間使用しない場合を除く） | |
| 6 | 交流100Vに適した電源コンセントに接続していますか？ | |
| 7 | 電源コンセントに、がたつき・緩みはありませんか？ | |
| 8 | サイドカバーは確実に取り付けてありますか？ | |
| 9 | 手洗いコネクタは確実に挿入されていますか？ | |
| 10 | 大洗浄でトイレットペーパーが確実に流れますか？ | |
| 11 | 洗浄スイッチ操作時、便器と床面の水漏れはありませんか？ | |
| 12 | 洗浄スイッチ操作時、配管の水漏れはありませんか？ | |
| 13 | ストレーナは掃除しましたか？ | |
| 14 | 長期間使用しない場合、水抜きを行いましたか？（便器洗浄面のため水は抜かない） | |

# 引き渡し

- 取扱説明書にしたがって取扱方法をお施主様にご説明ください。
- 施工説明書、取扱説明書、保証書（別添付）に必要事項を記入し、お客様にお渡しください。

| 施工日 | 施工店名 | 担当者 |
|---|---|---|
| | | |



パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

Dx0212-1042